TOTO

お客様専用窓口

商品のお問い合せは

TOTO（株）お客様相談室へ

TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日 9:00~18:00
土･日･祝日 10:00~18:00
（夏期休暇･年末年始を除く）

修理のご用命は

TOTOメンテナンス（株）修理受付センターへ
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受　　付：年中無休
受付時間：関東･甲信越地区 8:00~20:00
上記以外の地区 9:00~20:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間： 9:00~18:00

補修用部品のご購入は

TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日 9:00~18:00
土･日･祝日 10:00~18:00
（夏期休暇･年末年始を除く）

愛情点検	ときどきウォシュレットの点検をしましょう！		
	こんな症状はありませんか？	●コードを動かしたりすると、電源が切れたり入ったりする ●電源プラグやコード及びウォシュレット本体などが異常にあつい ●ウォシュレット本体から異常な音やにおいがする ●ウォシュレット本体から水漏れしている	このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、必ずTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご相談ください。 ※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。

修理を依頼される前に「故障かな?!と思ったら」をご覧ください。

TOTO株式会社　インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/

2008.2.28
D08246

TOTO

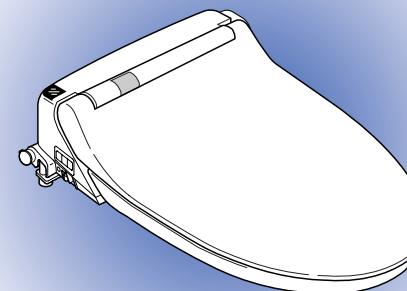
取扱説明書

施工説明書付

定期点検情報掲載

ウォシュレット® KV

TCF426・TCF466

washlet®

■このたびは、ウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■定期的に交換が必要な部品があります。
詳しくは63ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。
◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください。

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●表示と意味は次のようになっています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
（分解禁止）	⃠は、してはいけない「禁止」の内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
（必ず守る）	❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は、「必ず守る」を示します。

⚠ 警告

水かけ禁止

ウォシュレット本体や電源プラグに水や洗剤をかけない

●火災や感電の原因になります。

水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない

●火災や感電の原因になります。

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない

●火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

禁止

故障したままでウォシュレットを使いつづけない

●次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

故障とは…
- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしている
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・異音、異臭がしている
- ・製品から煙がでている
- ・製品が異常に熱い

●故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。

☞ アフターサービスは63ページ

電源コードや便座コードを破損するようなことはしない

引っ張らない、ねじらない、無理に曲げない、傷つけない、加工しない、加熱しない、重いものを載せない

●傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります。

⚠ 警告

禁止

ガタついているコンセントは使わない

●火災や感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

指定する電源（交流100V）以外では使用しない

●火災の原因になります。

給水位置の真下のコンセントを使用したり、給水ホースと電源プラグ、コンセントを接触させない

●結露水などにより、コンセントに水がかかり火災や感電の原因になります。

水道水および飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない

●皮膚の炎症などを起こす原因になります。

必ず守る

逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は水の安全を確保するために定期的な点検を行う

●逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する原因になります。

☞ 定期点検情報は63ページ

低温やけどに注意する

●ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。

●次のような方が暖房便座や温風乾燥をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」、乾燥の温度調節を「低」にしてください。

- ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
- ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
- ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方

強い力や衝撃を与えない

●ウォシュレット本体がはずれて落下し、転倒してけがをする原因になります。

※座る動作に障害のある方がご使用になる場合は過剰な横荷重が加わることにより、便座がはずれて転倒しけがをすることがありますので、固定部を専用部品に取り替えてください。（有料）　取り替えはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターへご依頼ください。

☞ 63ページ

電源プラグの刃などに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

●火災や感電の原因になります。
電源プラグを抜き、かわいた布でふいてください。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く

●コードを引っ張ると電源プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

プラグ抜き励行

お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜く

●感電の原因になります。

※「ノズルそうじスイッチ」機能使用時は除く。

アース接続

アース（D種接地）工事がされていることを確認する

●アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

⚠ 注意

火気禁止

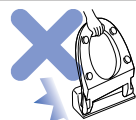
たばこなどの火気類を近づけない
●火災の原因になります。

禁止

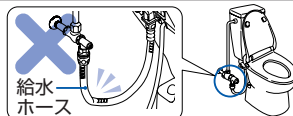
温風吹出口に指やものを入れたり、吹出口付近に近づかない
吹出口にものを置かない、手を置かない、衣服をかぶせない
●やけど、感電、焼損の原因になります。
●お子様やお年寄りが使用されるときは、十分注意してください。

便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを載せない
●割れたり、ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

プラスチック部分（ウォシュレット本体など）のお手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない
〔トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザーおよびナイロンたわしなど〕
●プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
●給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。

便座・便ふたを持って製品を持ち上げない
●ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
●水が噴き出します。
☞ 給水フィルターのお手入れは51ページ

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない
●水漏れの原因になります。

必ず守る

施工は施工説明書に従って確実に行う
●正しく取り付けていないと水漏れ、感電、火災の原因になります。
☞ 取り付けかたは10ページ

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
●安全のために電源プラグを抜いておいてください。
●再使用するときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になりますので、再通水してご使用ください。
☞ 再通水のしかたは55ページ

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める
●確実に締めないと水漏れの原因になります。

凍結による破損の予防を行う
●凍結すると給水配管やウォシュレット本体内部が破損して、水漏れする原因になります。
●暖房するなどしてトイレをあたためてください。☞ 凍結による破損の予防は53ページ

使用上のご注意

次のことをお守りください。

傷つきや破損を防ぐために！

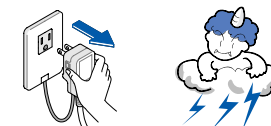
ウォシュレット本体、便座、便ふたなどのプラスチック部分はかわいた布やトイレットペーパーなどでふかない
☞ お手入れのしかたは44ページ
水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。

便ふたに寄りかからない

故障を防ぐために！

ウォシュレット本体やノズルに小便がかからないようにする

雷が発生しているときは…

電源プラグを抜く
故障の原因になります。

誤作動などを防ぐために！

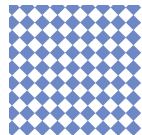
着座センサー、人体検知センサー（TCF466のみ）およびリモコン送信部・受信部をおおわない
ウォシュレットが誤作動する原因になります。

着座センサーとは…
●着座センサーは、人が座ったことを検知するものです。
●着座センサーからは図のように赤外線が出ています。
●使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなることがあります。
☞61ページ

人体検知センサー（TCF466のみ）とは…
●人体検知センサーは人が便器の前に立っていることを検知するものです。
●人体検知センサーからは図のように赤外線が出ています。
この赤外線の方向線上に人がくると検知します。

ラジオなどはウォシュレットから離して使う
ラジオに雑音が入ることがあります。

直射日光が当たらないようにする
変色や暖房便座の温度ムラが生じたり、リモコンでの作動不良の原因になります。

便座の上に幼児用補助便座・やわらか補高便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずす
一部の機能が使用できなくなることがあります。
着座センサーが検知してリモコン操作を受け付けることがあります。

機能の紹介

製品名称、製品品番は便ふたの裏に記載しています。

洗浄機能		TCF426	TCF466	参照ページ
ワンダーウェーブ おしり洗浄 ワンダーウェーブ やわらか洗浄 ワンダーウェーブ ビデ洗浄	●1秒間に70回以上強い吐水と弱い吐水を繰り返す、ワンダーウェーブ洗浄。今までにない心地良い洗浄感でおしりを洗います。さらにたっぷり感が向上しました。 ●やわらか・ビデ洗浄は旋回水流でやさしくワイドに洗いあげます。	○	○	30
洗浄位置調節	●ノズルの位置が前後に調節できます。	○	○	30
水勢調節	●水勢の強弱を調節できます。	○	○	30
ムーブ洗浄	●ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。	○	○	30
マッサージ洗浄	●強弱をつけた水勢で洗います。	○	○	30

快適機能		TCF426	TCF466	参照ページ
暖房便座	●便座をあたためます。	○	○	–
温風乾燥	●ぬれた部分をかわかします。	–	○	31
温度調節	●温水、便座、乾燥(TCF466のみ)、室暖(TCF466のみ)の温度を調節できます。	○	○	32、39
脱臭	●便器内のにおいをとります。	○	○	32、33
パワー脱臭	●吸い込む力をアップさせて便器内のにおいをとります。	○	○	33
オートパワー脱臭	●便座から立ち上がると自動でパワー脱臭をします。	○	○	32、33
リモコン	●ラクな姿勢で操作できます。	○	○	9
着座センサー	●便座に座ると各機能がはたらきます。	○	○	5
ソフト閉止	●便座・便ふたがゆっくり閉まります。	○	–	–
リモコン便座・便ふた開閉	●リモコンで便座・便ふたの開閉ができます。	–	○	34
オート開閉	●人を検知して自動で便ふたを開閉します。	–	○	34~36
室内暖房	●トイレ室内をあたためます。	–	○	37
タイマー室内暖房	●一度設定すると毎日その時間にトイレ室内をあたためます。 (室内暖房時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。)	–	○	38
冷込防止	●室温が約5℃以下になると自動でトイレ室内をあたためます。	–	○	39

節電機能		TCF426	TCF466	参照ページ
タイマー節電	●一度設定すると毎日その時間に便座ヒータが切れて節電します。 (節電時間は、3・6・9時間のいずれかに設定できます。)	○	○	40、41
おまかせ節電	●トイレをあまり使用しない時間帯を記憶して、自動で便座の温度を下げて節電します。	○	○	40、42、43
スーパーおまかせ節電	●おまかせ節電しながら、使用しない時間は自動で便座ヒータを切って節電します。	○	○	40、42、43
運転入/切スイッチ	●このスイッチを「切」にすることで暖房便座などの運転を停止して、こまめな節電ができます。	○	○	27

清潔機能		TCF426	TCF466	参照ページ
便座・便ふた着脱	●便座・便ふたが簡単に取りはずせます。お掃除も簡単です。	○	○	47、48
ウォシュレット本体ワンタッチ着脱	●ウォシュレット本体がワンタッチではずせます。便器の奥まで簡単にお掃除できます。	○	○	49
抗菌	●便座・スイッチなど直接肌がふれやすいところに抗菌処理をしています。	○	○	8、9、64
セルフクリーニング	●洗浄の前後に、ノズル先端部を自動でしっかり洗います。	○	○	–
ノズルまるごと洗浄	●ノズルが伸出・収納するときに、ノズル本体をしっかり洗います。	○	○	–
ノズルそうじスイッチ	●ノズルがお湯を出さずに伸出しますので、お掃除がラクにできます。	○	○	50

各部のなまえ

ウォシュレット本体底面

脱臭フィルター
☞50ページ
水抜け口
室内暖房フィルター（TCF466のみ）
☞52ページ

ウォシュレット本体背面

脱臭カートリッジ
☞62ページ
水抜きレバー
☞54ページ

ウォシュレット本体表示部

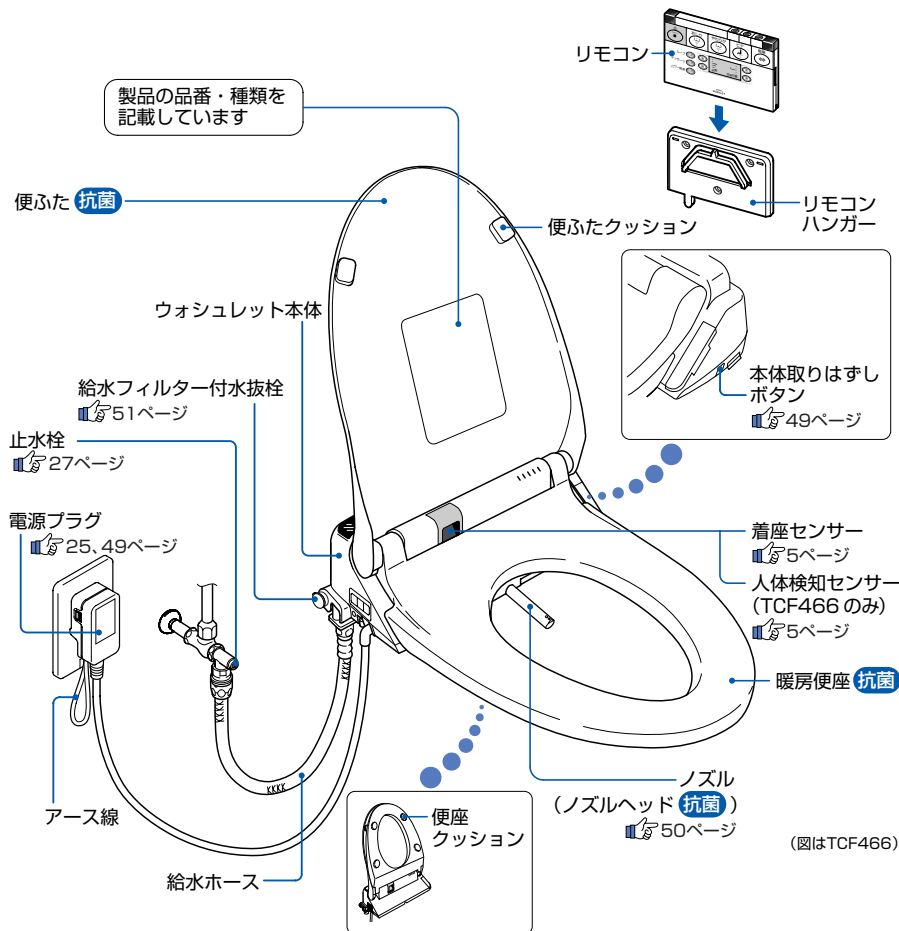
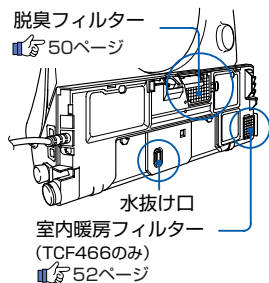
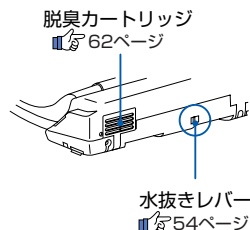
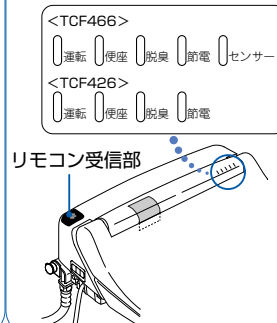
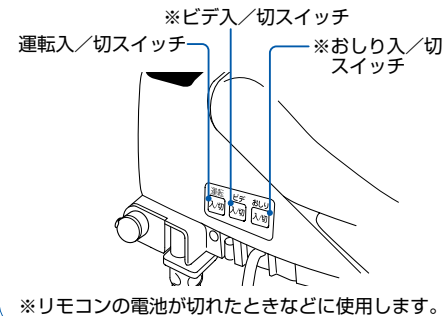
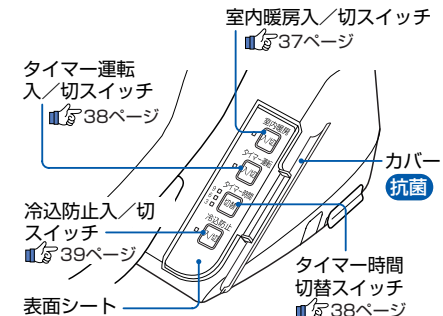
<TCF466>
運転 便座 脱臭 節電 センサー
<TCF426>
運転 便座 脱臭 節電
リモコン受信部

ウォシュレット本体操作部

運転入／切スイッチ
※ビデ入／切スイッチ
※おしり入／切スイッチ

※リモコンの電池が切れたときなどに使用します。

室内暖房操作部 （TCF466のみ）

室内暖房入／切スイッチ
☞37ページ
タイマー運転入／切スイッチ
☞38ページ
カバー 抗菌
冷込防止入／切スイッチ
☞39ページ
タイマー時間切替スイッチ
☞38ページ
表面シート

リモコン

- 目の不自由な方のために 止 おしり のスイッチに触覚記号（突起）を設けました。
- ※スイッチ用として点字シールを同梱しています。必要なときにご使用ください。

カバーを閉めたとき

抗菌・・・スイッチは抗菌処理をしています。

リモコン送信部
※止スイッチ
ムーブ入/切スイッチ
マッサージ入/切スイッチ
☞30ページ
パワー脱臭入/切スイッチ
☞33ページ
※水勢調節スイッチ
☞30ページ
リモコン表示部
※リモコン便座・便ふた開閉スイッチ（TCF466のみ）
☞34ページ
※おしり洗浄スイッチ
※やわらか洗浄スイッチ
※ビデ洗浄スイッチ
☞30ページ
※乾燥スイッチ（TCF466のみ）
☞31ページ
※洗浄位置調節スイッチ
☞30ページ
カバー

カバーを開けたとき

表面シート
ノズルそうじ入/切スイッチ
☞50ページ
節電設定
タイマー節電入/切スイッチ
☞41ページ
おまかせ節電・スーパーおまかせ節電入/切スイッチ
☞42、43ページ
オート ふた開閉入／切スイッチ（TCF466のみ）
☞34ページ
※オート機能は、はじめは「入」に設定されています。
温度設定
☞32ページ
温水温度調節スイッチ
便座温度調節スイッチ
乾燥温度調節スイッチ（TCF466のみ）

Pi ・・・・ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

取り付けかた

お取り付けの前には必ずこの項をよくお読みいただき、手順に従って、正しく取り付けてください。
商品については、TOTO（株）お客様相談室TEL 0120-03-1010・FAX 0120-09-1010にお問い合わせください。
※安全上の警告・注意及び使用上のご注意（2〜5ページ）を必ずお守りください。

取り付け手順

● 次の手順に従って、正しく取り付けてください。

同梱部品

取り付け前のご注意

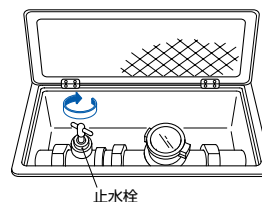
- すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
  ※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。
- リモコンの を押して便ふたを開いたとき、便ふたがロータンクふたや壁に当たるときは、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。（TCF466のみ）

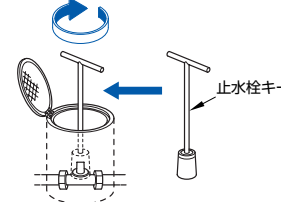
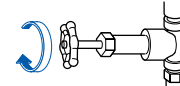
1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
   温水タンクが空の状態でヒータが入るため故障の原因になります。
3. 電源は交流100V（50/60Hz）、定格消費電力は TCF426：1277W、TCF466：1373Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。
   （ウォシュレット専用の配線をおすすめします。）
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力は0.05MPa（流動圧）〜0.75MPa（静水圧）です。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水温度は0〜35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 給水ホースの長さは約970mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。
   もし給水ホースの長さが足りない場合は、24ページ「6 給水ホースを接続する」の4項に長い給水ホースを記載していますので適切な長さのホースを選んでください。
   お求めはTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターTEL 0120-8282-55・FAX 0120-8272-99へご連絡ください。
8. 内ねじタイプの止水栓の場合や温水洗浄便座（TOTO品）からの取り替えの場合、同梱のロータンク接続用フレキホースを使用します。もし、フレキホースの長さが合わない場合は、15、19、20ページ「ロータンク接続用フレキホース（同梱品③）を取り付ける」に長さ違いのフレキホースを記載していますので適切な長さのフレキホースを選んでください。
   お求めはTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターTEL 0120-8282-55・FAX 0120-8272-99へご連絡ください。
   ※内ねじタイプの止水栓で、普通・暖房便座から取り替える場合は、フレキホースを使用せず既設の給水管を切断して使用することもできます。15ページ
9. フラッシュバルブ式便器への取り付けは、専門業者による取り付けが必要です。

1 作業を始める前に水道の元栓を閉める

- 元栓を閉めるときは、ガス給湯機や洗濯機などの使用を止めてください。

水道メーターと一体になった元栓の場合

※メーターボックスの止水栓を閉める

埋込み式の元栓の場合

※止水栓キーなどで閉める

マンションなどの場合

※玄関入口横の扉の中などにあります。

- 元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

取り付けかた

❷ 現在ご使用の便座を確認する

普通便座・暖房便座（ウォームレット）の場合	温水洗浄便座（ウォシュレット）の場合

引き続き

3−1 普通・暖房便座から取り替える にお進みください。

にお進みください。

16ページ

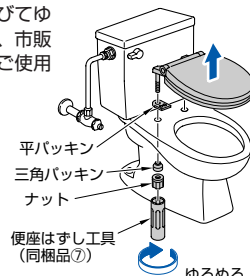
3−1 普通・暖房便座から取り替える

1.普通便座を取りはずす

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

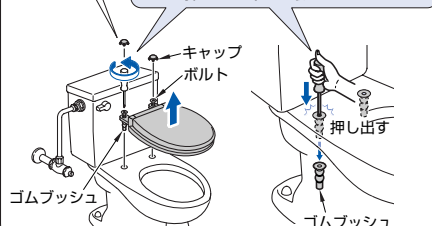
ボルトナットで便座が取り付いている場合

便座はずし工具（同梱品⑦）でナット（左右2個）をはずし、便座を取りはずす

※金属ナットがさびてゆるまないときは、市販のスプレー剤をご使用ください。

ゴムブッシュで便座が取り付いている場合

❶キャップをはずす

❷ボルトを⊕ドライバーでゆるめてはずし、便座を取りはずす

※ゴムブッシュがはずしにくいときは、便座やボルトを取り除いた後に⊕ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。

ベースプレートで便座が取り付いている場合

❶本体を取りはずす

❷ベースプレートのボルトを⊕ドライバーでゆるめて取りはずす

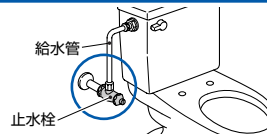
※ゴムブッシュがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に⊕ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。

ワンピース便器に便座が取り付いている場合

❶止水栓を閉める

❷タンク下側のナット（左右2個）をゆるめて便座を取りはずす

※便器の種類によっては、タンク内にナットがあります。タンクふたをはずして、ナットをゆるめて便座を取りはずしてください。

2.現在ご使用の止水栓タイプを確認する

一般的な止水栓	内ねじタイプの止水栓	寒冷地用の場合
●アングル形 ●ストレート形	●アングル形 ●ストレート形	
引き続き 3.一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	4.内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	専門業者による取り付けが必要です。お近くの販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センター TEL 0120-1010-05 FAX 0120-1010-02 にご依頼ください。

14ページ

3.一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

●同梱品⑧の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

❶ 既設止水栓の部品を取りはずす

❶ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです。）
●ロータンクに給水されないことを確認してください。

❷ 分岐金具（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける

21ページ ❹ ベースプレートを取り付ける にお進みください。

4.内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

●同梱品⑧の専用スパナ を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。
※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

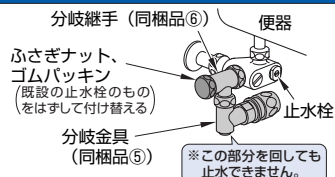
❶ ロータンクの水を抜く

❷ 給水管を取りはずす

❸ 分岐継手（同梱品⑥）を止水栓に取り付ける

ワンピース便器の場合の取付完成図

【取付手順】
①止水栓を閉める
②ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす（既設品）
③パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
④分岐金具（スピンドル付）を分岐継手に取り付ける
⑤②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける
【確認】
⑥接続部から水漏れがないか確認する

分岐継手（同梱品⑥）
便器
ふさぎナット、ゴムパッキン（既設の止水栓のものをはずして付け替える）
止水栓
分岐金具（同梱品⑤）
※この部分を回しても止水できません。

❹ ロータンク接続用フレキホース（同梱品③）を取り付ける

※フレキホースは接続の向きが決まっていますのでご注意ください。（両端のナットの形状が違います。）

ゴムパッキン（消音ブッシュがある場合は不要）
フィルター（凸部がロータンク側になります。）
ゴムパッキン
ボールタップ本体
浮玉
❶ロータンク（ボールタップ）側のナット（大）を締め付ける
ロータンク接続用フレキホース（同梱品③）
ナット（大）
※フレキホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
❷分岐継手側のナット（小）を締め付ける
ナット（小）
パッキン
分岐継手
止水栓

注意
●ボールタップ本体をしっかり持ってナット（大）を確実に締め付けてください。
●ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの給水不良や止水不良の原因になります。
●浮玉が正常に動くことを確認してください。

取付完成図
回転構造

※ロータンク接続用フレキホースの長さが合わないときは、下図のA寸法に合ったフレキホースを右表より選んでご購入ください。（同梱品のフレキホースの長さは400㎜です。）

給水管
A寸法

ロータンク接続用フレキホース長さ違い一覧表

A寸法（㎜）	フレキホース長さ（㎜）	品番	希望小売価格
120～150	200	TCA61-2R	¥1,450（税込¥1,523）
150～200	450	TCA61-1N	¥1,700（税込¥1,785）
200～250	300	TCA61-3R	¥1,550（税込¥1,628）
250～400	400	同梱のフレキホースで取り付けできます。	

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

※A寸法が150～200㎜の場合は、450㎜のフレキホースをループさせてご使用ください。

ロータンク接続用フレキホースを使用せずに取りはずした給水管を切断して使用することもできます。

❶給水管を切断する

分岐継手
給水管
パイプカッター
10～15㎜
不要部分
※差込部分10～15㎜を必ず確保する

●給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
●切断後は切粉を取り除いてください。

❷給水管を取り付ける

※取りはずし前の組み合わせで取り付けてください。
パッキンが切れたり、劣化している場合は同梱のロータンク接続用フレキホースのゴムパッキンを使用してください。

（図はフィルター・消音ブッシュ付の場合）

☞ 21ページ ❹ ベースプレートを取り付ける にお進みください。

取り付けかた

3−2 温水洗浄便座から取り替える

1.温水洗浄便座を取りはずす

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

TOTOウォシュレット（代表例を示す）

【ボルトナットで取り付いている場合】

❶電源プラグをコンセントから引き抜く

❷連結管のナットをゆるめ、取りはずす

❸便座はずし工具（同梱品⑦）でナット（左右2個）をはずし、ウォシュレット本体を取りはずす

既設分岐金具
スパナ
スパナ
三角パッキン
ナット
便座はずし工具（同梱品⑦）
※配管内の残水を洗面器などで受ける

【ベースプレートで取り付いている場合】

❶右側の本体取りはずしボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く

❷ベースプレートのボルトをゆるめてはずす

※ゴムブッシュがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に⊕ドライバーで上から押さえて、下からはずしてください。

⊕ドライバー
ボルト
ベースプレート
ゴムブッシュ
便座取付穴
本体取りはずしボタン
押し出す
ゴムブッシュ

注 意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。

※既設（旧型）のベースプレートではウォシュレットが作動しません。（新型のベースプレートは本体着脱検出用のスイッチを内蔵しています。）

TOTOウォシュレット以外（代表例を示す）

❶電源プラグをコンセントから引き抜く

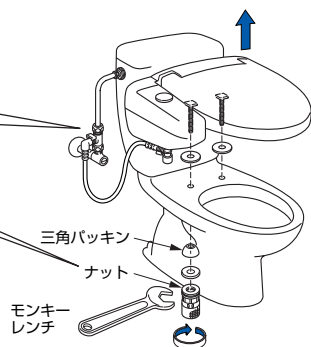
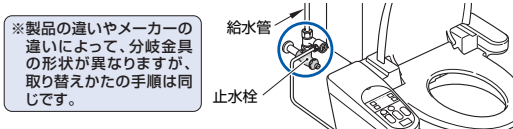
❷給水ホースのナットをゆるめ、取りはずす

❸モンキーレンチなどでナット（左右2個）をはずし、温水洗浄便座を取りはずす

三角パッキン
ナット
モンキーレンチ

2.現在ご使用の止水栓タイプを確認する

※製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。

給水管
止水栓

一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓
【TOTO品】	【他社品】	【他社品】
既設給水管 既設分岐金具	既設給水管（そのまま使用できます。） 既設分岐金具 既設給水管（そのまま使用できます。） 既設分岐金具 ※このタイプの止水栓および分岐金具の場合、既設給水管は取りはずさずそのまま使用できます。	既設給水管 既設分岐金具 既設給水管 既設分岐金具 既設給水管 既設分岐金具
引き続き 3.一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	3−1 普通・暖房便座から取り替える 3.一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	4.内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。

☞ 13ページ

☞ 19ページ

3.一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

●同梱品⑧の専用スパナ を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

❶ ロータンクの水を抜く

❶止水栓をいっぱいに閉める

❷ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続ホースをはずしてください。

スパナ（先端は⊖ドライバー付き）

❸ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです。）
●ロータンクに給水されないことを確認してください。

❷ 既設分岐金具と給水管を取りはずす

注 意

ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

❶上下のナットをゆるめる

※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします。

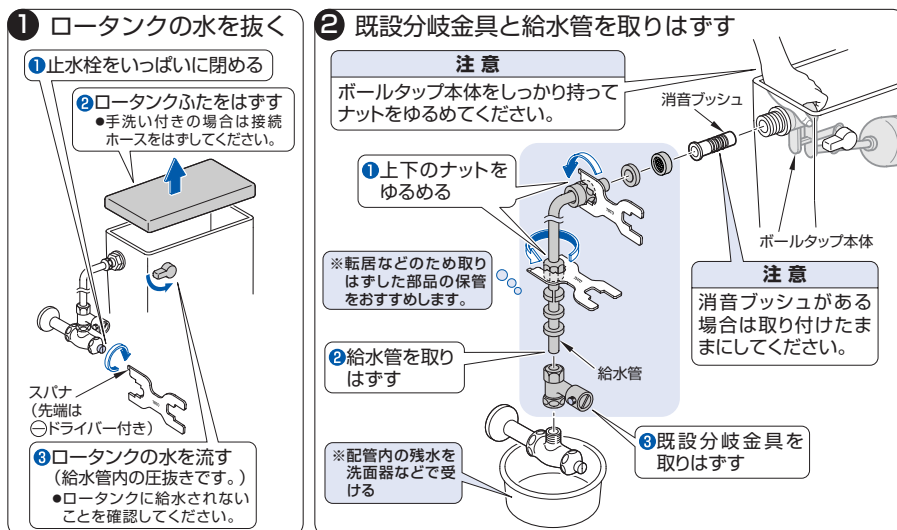
❷給水管を取りはずす

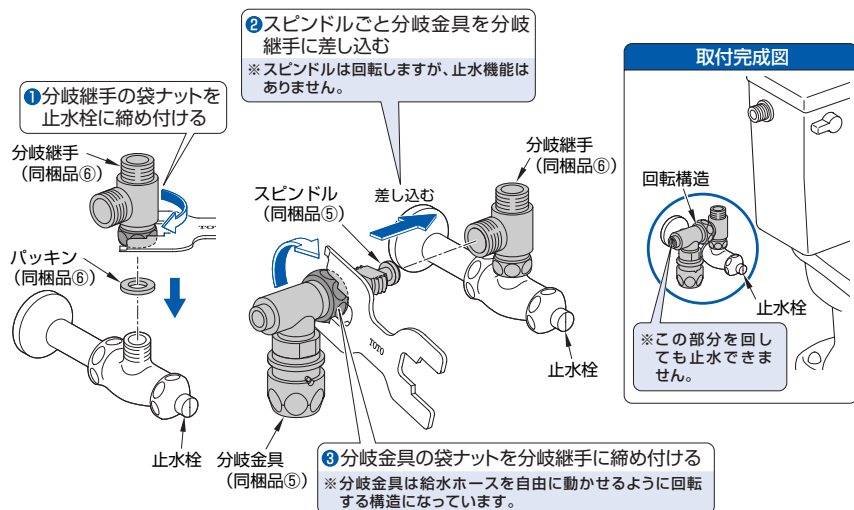
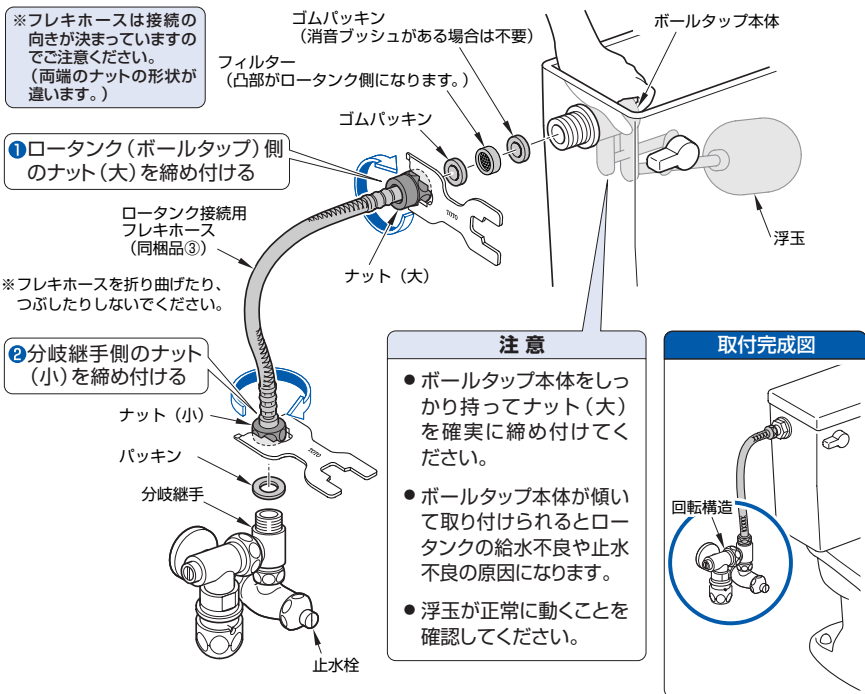
❸既設分岐金具を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

消音ブッシュ
ボールタップ本体
給水管

注 意

消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

取り付けかた

③ 分岐継手（同梱品⑥）を止水栓に取り付ける

④ ロータンク接続用フレキホース（同梱品③）を取り付ける

ロータンク接続用フレキホース長さ違い一覧表

A寸法（㎜）	フレキホース長さ（㎜）	品番	希望小売価格
120～150	200	TCA61-2R	¥1,450（税込¥1,523）
150～200	450	TCA61-1N	¥1,700（税込¥1,785）
200～250	300	TCA61-3R	¥1,550（税込¥1,628）
250～400	400	同梱のフレキホースで取り付けできます。	

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

21ページ ④ ベースプレートを取り付ける にお進みください。

4.内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

取り付けかた

❹ ロータンク接続用フレキホース（同梱品③）を取り付ける

※フレキホースには接続の向きが決まっていますのでご注意ください。
（両端のナットの形状が違います。）

❶ロータンク（ボールタップ）側のナット（大）を締め付ける

❷分岐継手側のナット（小）を締め付ける

ゴムパッキン
（消音ブッシュがある場合は不要）
フィルター
（凸部がロータンク側になります。）
ゴムパッキン
ボールタップ本体
浮玉
ナット（大）
ロータンク接続用フレキホース
（同梱品③）
※フレキホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
ナット（小）
パッキン
分岐継手
止水栓

注 意

- ボールタップ本体をしっかり持ってナット（大）を確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの給水不良や止水不良の原因になります。
- 浮玉が正常に動くことを確認してください。

取付完成図

回転構造

※ロータンク接続用フレキホースの長さが合わないときは、下図のA寸法に合ったフレキホースを右表より選んでご購入ください。
（同梱品のフレキホースの長さは400㎜です。）

給水管
A寸法

ロータンク接続用フレキホース長さ違い一覧表

A寸法（㎜）	フレキホース長さ（㎜）	品 番	希望小売価格
120～150	200	TCA61-2R	¥1,450（税込¥1,523）
150～200	450	TCA61-1N	¥1,700（税込¥1,785）
200～250	300	TCA61-3R	¥1,550（税込¥1,628）
250～400	400	同梱のフレキホースで取り付けできます。	

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

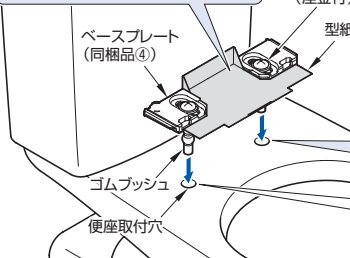
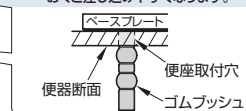
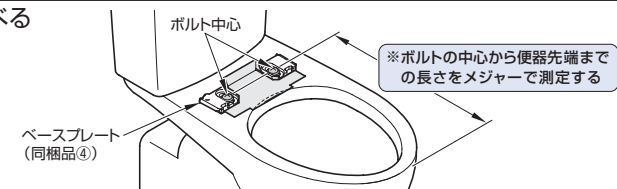
※A寸法が150～200㎜の場合は、450㎜のフレキホースをループさせてご使用ください。

☞ 21ページ ❹ ベースプレートを取り付ける にお進みください。

❹ ベースプレートを取り付ける

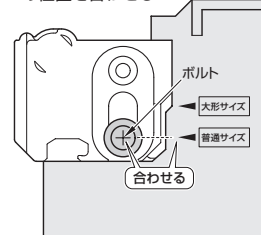
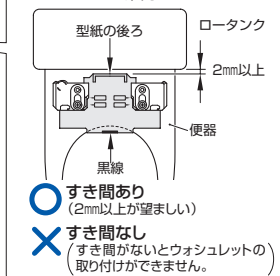
1.取付準備

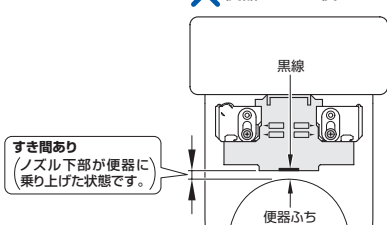
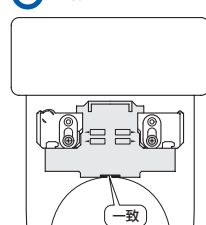
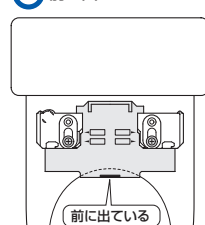
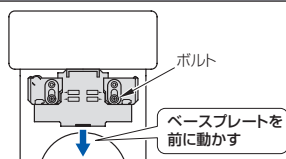
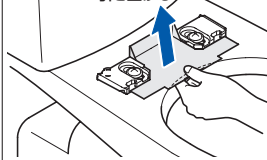
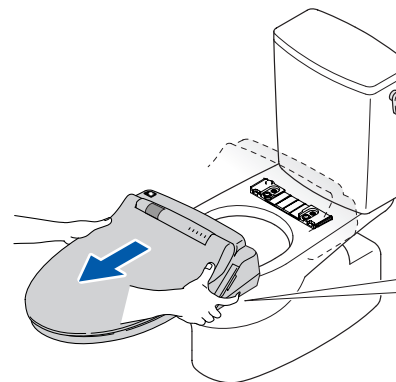
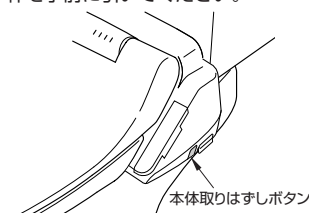
❶ ベースプレート（同梱品④）をセットする

ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。
この型紙を用いて正しくセットしてください。

❷ 便器のサイズを調べる

約47cm：大形サイズの便器です。	約44cm：普通サイズの便器です。
引き続き 2.大形サイズ便器の場合のベースプレート位置 にお進みください。	3.普通サイズ便器の場合のベースプレート位置 にお進みください。

☞ 22ページ

2.大形サイズ便器の場合のベースプレート位置

ベースプレートの位置を決める

☞ 22ページ 4.ベースプレートを固定する にお進みください。

3.普通サイズ便器の場合のベースプレート位置

4.ベースプレートを固定する

5 ウォシュレット本体を取り付ける

※ウォシュレット本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これはウォシュレット本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。異常ではありません。

※普通サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

※便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、ウォシュレット本体をはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。

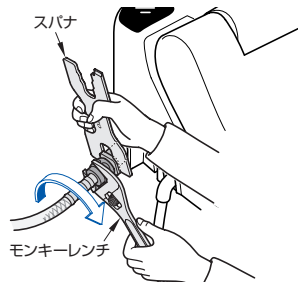
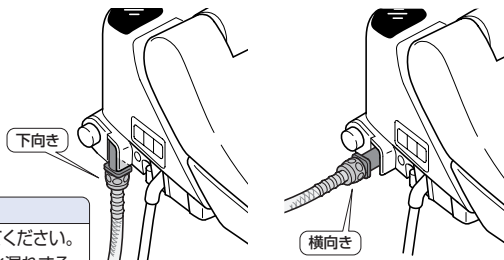
※大形サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便器先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは、もう一度ベースプレートの位置を調整してください。

6 給水ホースを接続する

給水ホースの取り付けかた

●ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずした状態で接続すると作業しやすくなります。

☞ ウォシュレット本体の取りはずしかたは23ページ

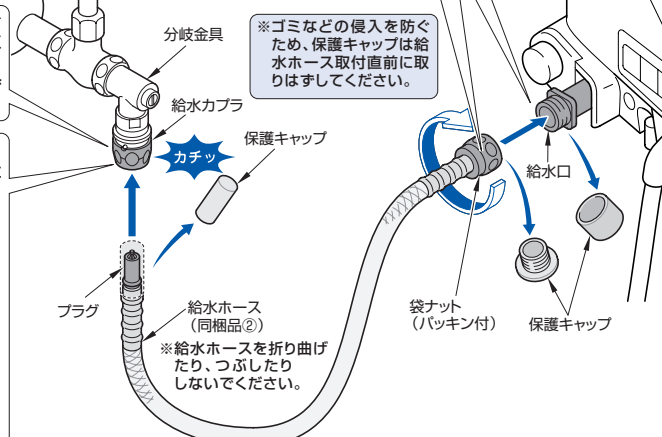
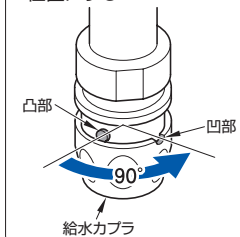
❶ウォシュレット本体の給水口に給水ホース（同梱品②）の袋ナットを締め付ける

ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。
ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。

⚠ 注 意

給水口をスパナで固定して給水ホースを接続してください。
無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。

❷給水ホースのプラグ側を分岐金具の給水カプラに差し込む
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

❸給水カプラを手で回して、凹部と凸部が90°ずれた位置にする

※ゴミなどの侵入を防ぐため、保護キャップは給水ホース取付直前に取りはずしてください。

※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

❹給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

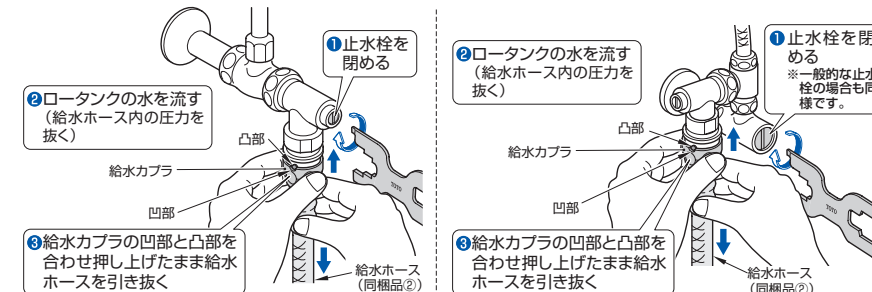
※給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。（同梱品の給水ホースの長さは約970mmです。）
お求めは **TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターTEL ☎0120-8282-55・FAX ☎0120-8272-99**へご連絡ください。
※分岐金具の給水カプラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

給水ホース長さ違い一覧表

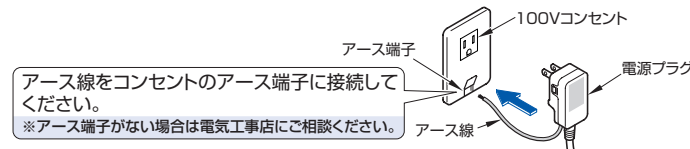
給水ホース長さ（mm）	品 番	希望小売価格
1180	D24009ZSt5	¥2,000（税込¥2,100）
1480	D24009ZSt6	¥2,300（税込¥2,415）
1980	D24009ZSt7	¥2,800（税込¥2,940）

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

給水ホースのはずしかた

●分岐金具の取り付けかたで止水栓の位置が異なります。
※施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。

7 アース線を接続する

アース線を確実に取り付ける

アース線をコンセントのアース端子に接続してください。
※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

8 電源プラグを確認する

電源プラグを取り付ける

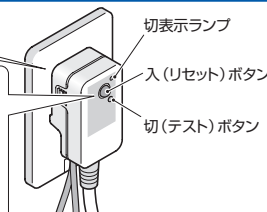
❶電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む
※ノズルがいったん出て戻る動作を行うか確認してください。

❷電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

「切（テスト）」ボタンを押す ➡ 「切表示」ランプが点灯する
「入（リセット）」ボタンを押す ➡ 「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。

※「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
確認後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

TCF466の場合、電源プラグを入れて、最初に便ふたが開くときに障害物があたると、次から便ふたが途中で止まる（閉まる）ことがあります。（3回続けて開いた位置を記憶します。）
障害物がない状態で電源プラグを一度はずしてから差し込み、リモコンの[ボタン]を押してください。

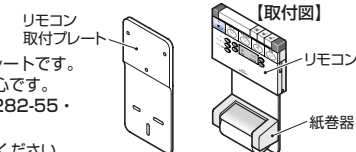
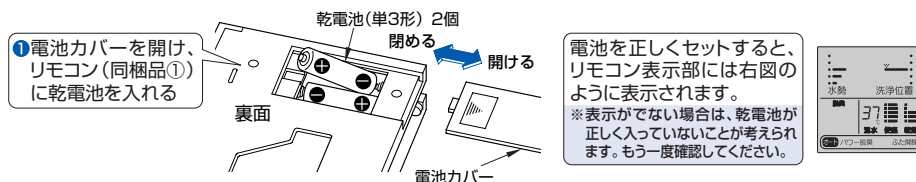
切表示ランプ
入（リセット）ボタン
切（テスト）ボタン

9 リモコンを取り付ける

オプションの紹介

リモコン取付プレート（TCA37-1）
希望小売価格 ¥1,750（税込¥1,838）
現在ご使用中の紙巻器の取付穴を利用して、リモコンをセットできる取付プレートです。
新しくねじ穴を開ける必要がないので壁面をいためず、引っ越しのときも安心です。
お求めはTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターTEL ☎ 0120-8282-55・FAX ☎ 0120-8272-99へご連絡ください。
※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

リモコン取付プレート

リモコンを取り付ける

電池を正しくセットすると、リモコン表示部には右図のように表示されます。
※表示がでない場合は、乾電池が正しく入っていないことが考えられます。もう一度確認してください。

乾電池について

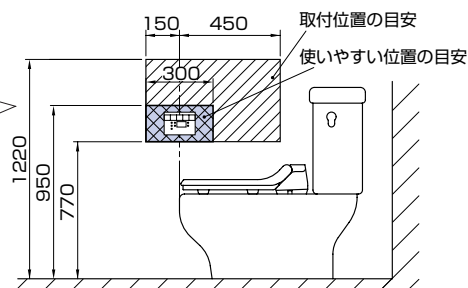
乾電池の破裂や液漏れを防ぐために次のことを必ずお守りください。
- 交換は、新しい同じ銘柄の乾電池を使用する。
- 長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 充電式の電池は使用しない。

電池交換を行うと、タイマー節電、オート機能など、「入」「切」の設定が解除される場合があります。
- もう一度設定をやり直してください。（例…タイマー節電を「切」にしていても「入」になる）

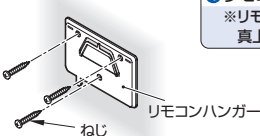
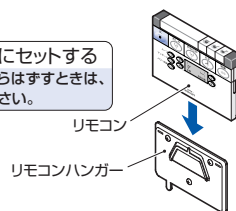
❷次の確認を行ってリモコンの取付位置を決める

〈操作性の確認〉
便座に座った状態で操作を行い取付位置を決めてください。

〈作動の確認〉
- ノズルそうじ 入/切 を押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

150　450　取付位置の目安
300　使いやすい位置の目安
1220　950　770

注 意

らくらくリモコンを併設する場合は、らくらくリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。

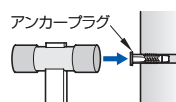
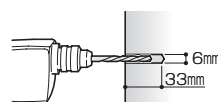
❸リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける
※壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合下記を参照してください。

❹リモコンをハンガーにセットする
※リモコンをハンガーからはずすときは、真上に引き上げてください。

石膏ボードやタイル・コンクリート壁への取り付け

壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンハンガーを取り付けてください。

①リモコンハンガーのねじ位置に合わせ、ドリルで壁に直径6mmの下穴をあける

②ハンマーなどを使い、アンカープラグを下穴に打ち込む

アンカープラグ

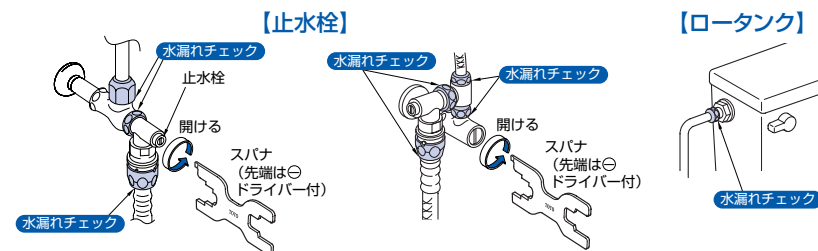
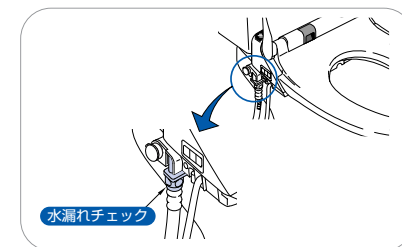
③リモコンハンガーを⊕ドライバーで取り付ける

※石膏ボードに取り付ける際は、ねじの締め付けがはじめはかたく、いったんゆるくなって再びややかたくなります。ややかたくなるまでしっかりと締め付けてください。

取り付けが終わったら、 27ページご使用前の確認を必ず行ってください。

ご使用前の確認

ウォシュレットを取り付け後、はじめてお使いになるときは、次の確認を行ってください。

1 水漏れの点検

❶給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
❷水道の元栓を開く
❸止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する

❹ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
※万一水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。

2 「ウォシュレット本体表示部」の確認

● ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプ、「便座」ランプは点灯していますか？

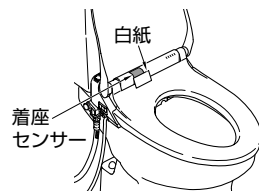
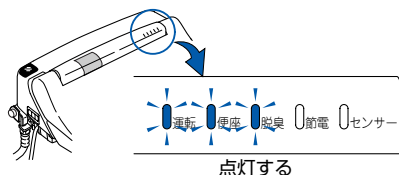
アドバイス 1

「運転」ランプが点灯していないと全機能が使用できません。（節電中は除きます。 40ページ）
ウォシュレット本体操作部の 運転 入/切 を押してください。（ランプが点灯します。）

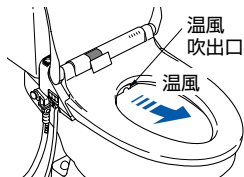
アドバイス 1　便座の「入」「切」や温度調節は 32ページの「温度調節のしかた」をご覧ください。

3 試運転

試運転時に次のような状態になった場合は、「故障かな?!と思ったら」 57ページをご覧ください。
・動かない → 57ページ「全機能」
・水が出ない → 57ページ「全機能」「おしり洗浄・やわらか洗浄・ビデ洗浄」

❶ 着座センサーを白紙でおおう
● 白紙でおおうと着座センサーが検知します。検知するとノズル付近から数秒間水がでます。
（便座を閉めないと着座センサーははたらきません。）

❷ 脱臭機能を確認する
● ウォシュレット本体表示部の「脱臭」ランプが点灯していますか？
● ウォシュレット本体の背面右側の吹出口より風が出ていますか？

❸ パワー脱臭機能を確認する
● パワー脱臭 入/切 を押すと脱臭音が大きくなりますか？
● もう一度 パワー脱臭 入/切 を押すと通常の音に戻りますか？

❹ 洗浄機能を確認する
● おしり やわらか ビデ を押すとノズルから適温の温水が出ますか？
（吐水は紙コップなどで受けてください。）
● 水勢調節 強 弱 を押すと水勢が変化しますか？
● 止 を押すと止まりますか？

❺ 乾燥機能を確認する（TCF466のみ）
● 乾燥 を押すとノズルの右側から温風が出ますか？
● 止 を押すと止まりますか？

❻ 室内暖房機能を確認する（TCF466のみ）
● 室内暖房操作部の 室内暖房 入/切 を押すと、ウォシュレット本体の右側から温風が出ますか？
● もう一度 室内暖房 入/切 を押すと、約10秒後に温風が止まりますか？
● 室温が20～33℃のときは約10秒間だけ温風が出ます。
それ以上の室温のときは温風は出ません。
● 設定温度より室温が高くなると、温風が自動で止まります。

❼ 暖房便座機能を確認する
● 便座があたたまるまで約15分かかります。

❽ 着座センサーの白紙を30秒以上おおった後、はずす

❾ オートパワー脱臭機能を確認する
● 白紙をはずすと脱臭音が大きくなりますか？
● 白紙をはずしてから約1分後に自動で止まりますか？

❿ リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する（TCF466のみ）
● を押すと便座・便ふたが開閉しますか？

⓫ オート開閉機能を確認する（TCF466のみ）
● 一度、便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。
便器から離れて約10秒経過した後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？

● 便ふたが開いた後、便座を開けてください。
便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか？

⓬ 確認後、止水栓を閉めた後、給水フィルターに付いているゴミを水洗いして取りのぞく
51ページ「給水フィルターのお手入れ」をご覧ください。
アドバイス 1

アドバイス 1 施工時に発生したごみが給水フィルターに詰まると、おしり洗浄・やわらか洗浄・ビデ洗浄時に水勢が弱くなります。
取り付け後は必ず給水フィルターの掃除を行ってください。

使いかた

標準的な使いかた

1 便器の前に立つ ▶ 便ふたが自動で開きます。(TCF466のみ)

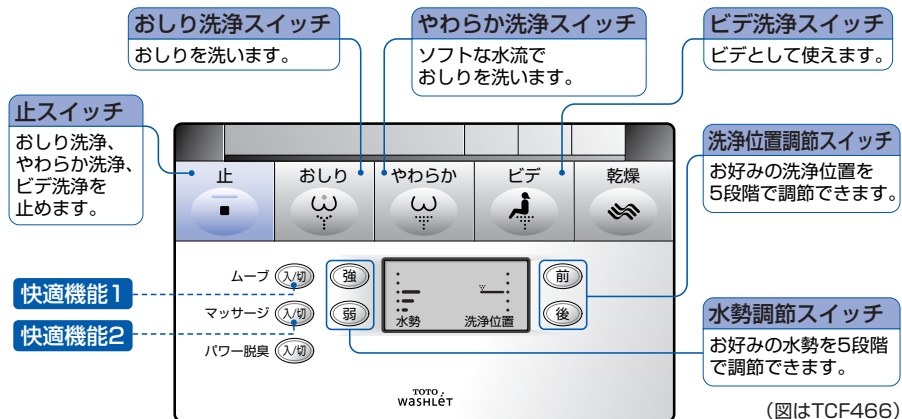
(**オート開閉** ☞ 34ページ)
- TCF426は手で開けてください。

2 便座に座る

着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。
- お湯を出す準備のため、ノズル付近から便器内に数秒間水が出ます。
- 脱臭がはじまります。
  パワー脱臭もお試しください。 ☞ 33ページ

3 洗　う　アドバイス 1

- ウォシュレットは水道水または飲用可能な井戸水を直接使用しています。
  (ロータンクの水を使用することはありません。)

(図はTCF466)

さらに快適な機能

快適洗浄1　ムーブ洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

❶ おしり　やわらか　ビデ
使用するスイッチを押す

❷ ムーブ 入/切 を押す
- ムーブ洗浄をします。

❸もう一度 ムーブ 入/切 を押す
- ムーブ洗浄をやめます。

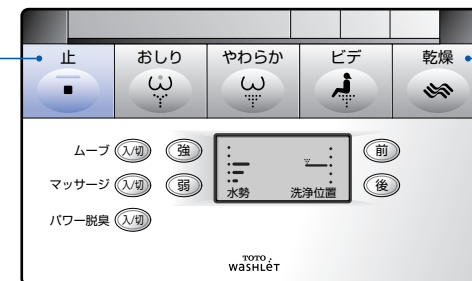
快適洗浄2　マッサージ洗浄

強弱をつけた水勢で洗います。

❶ おしり　やわらか　ビデ
使用するスイッチを押す

❷ マッサージ 入/切 を押す
- マッサージ洗浄をします。

❸もう一度 マッサージ 入/切 を押す
- マッサージ洗浄をやめます。

アドバイス 1　**便座には深く腰掛けましょう！**
洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

4 かわかす

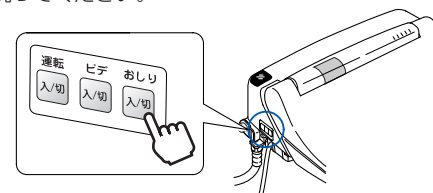
5 便座から立ち上がる

- オートパワー脱臭がはじまります。約1分後に止まります。

6 便器から離れる ▶ 約90秒後に自動で便ふたが閉まります。(TCF466のみ)

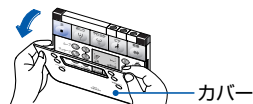
(**オート開閉** ☞ 34ページ)
- TCF426は手で閉めてください。

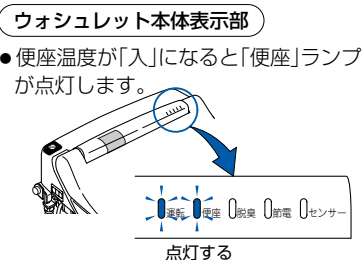
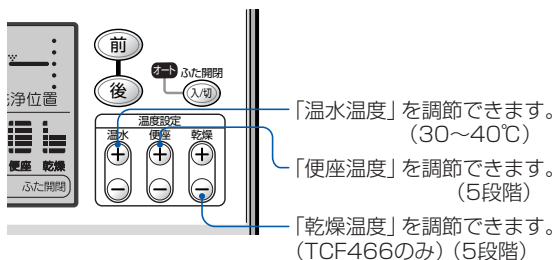
リモコンの電池が切れたときなど

- ウォシュレット本体操作部の おしり 入/切 または ビデ 入/切 を押して、洗ってください。

快適な機能

温度調節のしかた

○温水、便座、乾燥（TCF466のみ）の温度はリモコンで調節できます。お好みの温度でご使用ください。

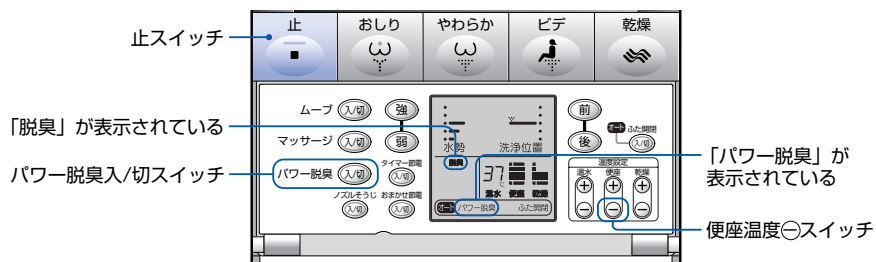
1 リモコンのカバーを開ける

2 温度調節する

- 温水の温度は ⊕ ⊖ スイッチで適温に調節してください。
  「切」にする場合は、温度表示が消えるまで ⊖ スイッチを押してください。 アドバイス 1
- 便座、乾燥（TCF466のみ）の温度は、⊕ ⊖ スイッチで5段階の調節ができます。
  便座の温度を「切」にする場合は、ステップ表示が消えるまで ⊖ スイッチを押してください。 アドバイス 2

脱臭のしかた

脱臭には 標準の脱臭 パワー脱臭 オートパワー脱臭 の3通りがあります。

標準の脱臭、オートパワー脱臭の使いかた

○便座に座ると標準の脱臭がはたらきます。
便座から立ち上がるとオートパワー脱臭がはたらいて、便器内のにおいをとります。

▷check リモコン表示部に「脱臭」「パワー脱臭」が表示されていることを確認してください。

アドバイス 1 リモコンに表示している温度は、目安としてお使いください。

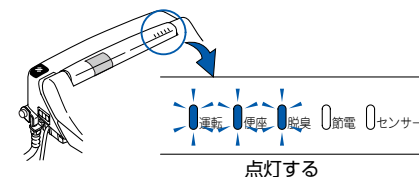
アドバイス 2 リモコンの電池交換をすると、温水・便座・乾燥（TCF466のみ）の設定が解除される場合があります。もう一度設定し直してください。

1 便座に座る

▼

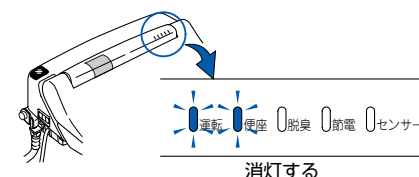
脱臭を始めます。 アドバイス 3

- ウォシュレット本体表示部の「脱臭」ランプが点灯します。

運転 便座 脱臭 節電 センサー
点灯する

2 便座から立ち上がる

▼

オートパワー脱臭を始めます。
約1分後に自動で止まります。 アドバイス 4

- ウォシュレット本体表示部の「脱臭」ランプが消灯します。

標準の脱臭を使わないとき

1 リモコンの 止 を10秒以上押す
（リモコン表示部が全て点滅するまで押す。）

2 パワー脱臭 入/切 を押す アドバイス 5

3 もう一度 止 を押す

▼

標準の脱臭をやめます。

- リモコン表示部の「脱臭」が消えます。
- オートパワー脱臭、パワー脱臭は使えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。

オートパワー脱臭を使わないとき

1 リモコンの 止 を10秒以上押す
（リモコン表示部が全て点滅するまで押す。）

2 便座温度 ⊖ を押す アドバイス 6

3 もう一度 止 を押す

▼

オートパワー脱臭をやめます。

- リモコン表示部の「パワー脱臭」が消えます。
- 脱臭、パワー脱臭は使えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。

パワー脱臭の使いかた

○便座に座って、においが気になるときに、吸い込む力をアップさせて便器内のにおいをとります。 アドバイス 7

リモコンの パワー脱臭 入/切 を押す

▼

パワー脱臭を始めます。

パワー脱臭を使わないとき

もう一度 パワー脱臭 入/切 を押す

▼

標準の脱臭に戻ります。 アドバイス 8

アドバイス 3 はじめは、脱臭は「入」に設定されています。

アドバイス 4 はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。

アドバイス 5 ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

アドバイス 6 ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「切」のときは「ピッ」、「入」のときは「ピッピッ」という電子音が鳴ります。

アドバイス 7 パワー脱臭は、便座に座らないとはたらきません。
いったん便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。

アドバイス 8 パワー脱臭 入/切 を切らずに立ち上がった場合は、約1分後に止まります。

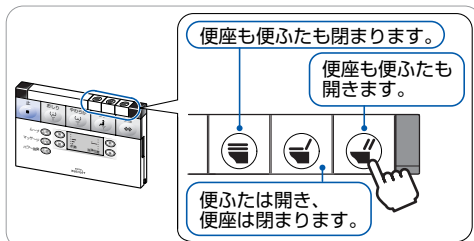
便座・便ふたの開閉のしかた

TCF426は、手で開閉してください。
TCF466は リモコン開閉 オート開閉 の2通りがあります。

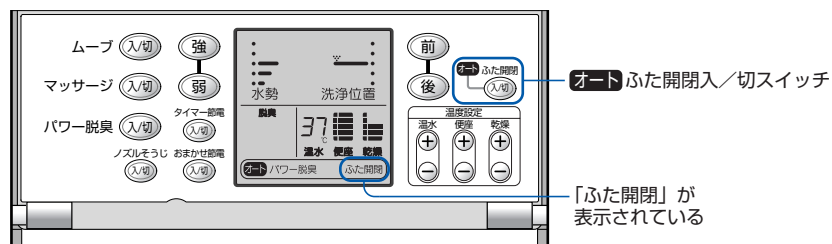
リモコン便座・便ふた開閉の使いかた（TCF466のみ）

●リモコンのスイッチで便座・便ふたの開閉ができます。 アドバイス 1

リモコンの を押す

便座・便ふたが開閉します。

オート開閉の使いかた（TCF466のみ）

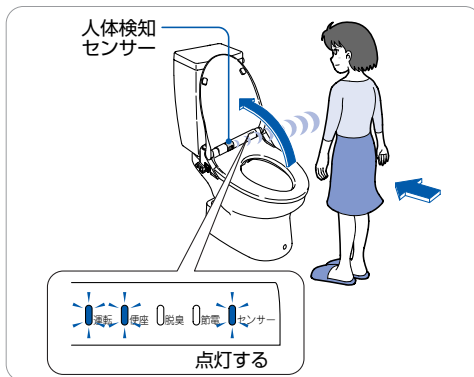
●便器の前に立つと便ふたが自動で開き、便器から離れると便ふたが自動で閉まります。
便ふたをリモコンや手で閉じたときは、約10秒間便ふたは自動で開きません。
（便ふたが繰り返し開かないようにしています。）

▷check リモコン表示部に「ふた開閉」が表示されていることを確認してください。

1 便器の前に立つ

便ふたが自動で開きます。

※開かないときは、便器から30cm以上離れ、10秒たった後に便器の前に立つと自動で開きます。

アドバイス 2

● 人を検知すると、ウォシュレット本体表示部の「センサー」ランプが点灯します。
● 人体検知センサーで人を検知して、便ふたが自動で開きます。

アドバイス 1 停電や電池切れのときは手で便座・便ふたを開閉してください。

アドバイス 2 ●はじめは、オート開閉は「入」に設定されています。
●小さなお子様が使用される場合は、便器の前に立つ位置・身長等によってセンサーが検知できないことがあります。その場合はリモコンのスイッチで開閉してください。

便座を使用するとき

便座に座った時間が
● 6秒以上のとき………便ふたは約90秒後に自動で閉まります。
● 6秒に満たないとき…便ふたは約5分後に自動で閉まります。

用便後、便器から30cm以上離れる

約90秒後に便ふたが自動で閉まります。

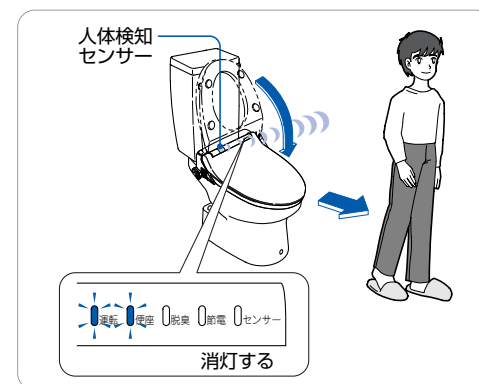
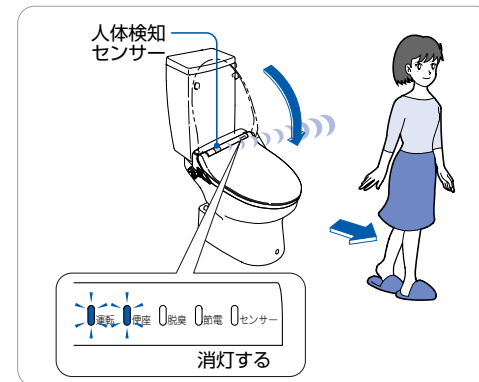
● 人を検知しなくなると、ウォシュレット本体表示部の「センサー」ランプが消灯します。

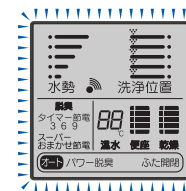
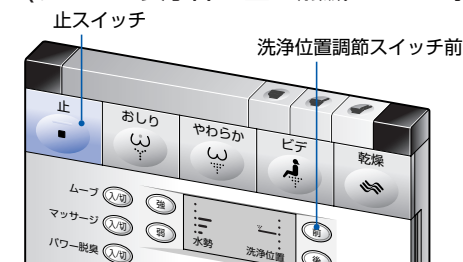
立って小便をするとき

便座・便ふたを開けて便器の前に立った時間が
● 6秒以上のとき………便座・便ふたは約90秒後に自動で閉まります。
● 6秒に満たないとき…便座・便ふたは約5分後に自動で閉まります。

小便後、便器から30cm以上離れる

約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まります。

● 人を検知しなくなると、ウォシュレット本体表示部の「センサー」ランプが消灯します。

便ふたが自動で閉まる時間を変えたいとき（約90秒後を約6秒後に変更できます。）

1 リモコンの 止 を10秒以上押す
（リモコン表示部が全て点滅するまで押す）

リモコン表示部「全表示」点滅

2 前 を押す

アドバイス 3

アドバイス 3 ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け取ると「6秒後」に変更したときは「ピッピッ」、「90秒後」に変更したしたときは「ピッ」という電子音が鳴ります。

使いかた

3 もう一度 [止] を押す

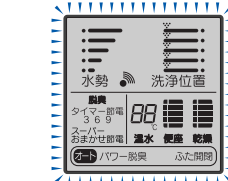
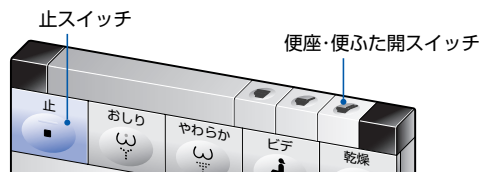
約6秒後に便ふたが自動で閉まります。

- 再び約90秒後に切り替えるときは、同じ操作を行ってください。

便座と便ふたを同時に自動で開けたいとき（立って小便をするとき）

1 リモコンの [止] を10秒以上押す
(リモコン表示部が全て点滅するまで押す)

リモコン表示部「全表示」点滅

2 [便座･便ふた開] を押す

アドバイス 1

3 もう一度 [止] を押す

便座と便ふたが一緒に開きます。

- 便座を使用するときは [便ふた] を押して便座を閉めてください。
- 再び便ふたのみが開くようにするときは、同じ操作を行ってください。

オート開閉を使わないとき

■ リモコンの [オート ふた開閉 入/切] を押す

オート開閉をやめます。

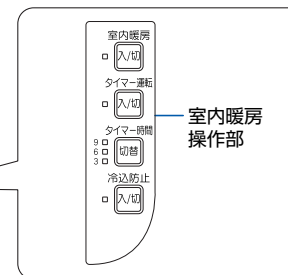
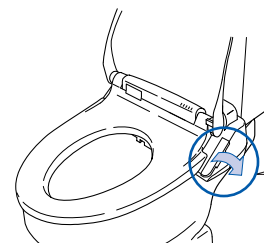
- リモコン表示部の「ふた開閉」が消えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。

アドバイス 1　ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「便座と便ふたが同時に開く」に変更したときは「ピッピッ」、「便ふたのみが開く」に変更したときは「ピッ」という電子音が鳴ります。

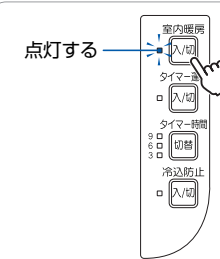
室内暖房のしかた（TCF466のみ）

室内暖房の使いかた

- トイレ室内をあたためます。

■ 室内暖房操作部の [室内暖房 入/切] を押す

室内暖房を始めます。

- 「室内暖房」ランプが点灯します。
- ウォシュレット本体の右側から温風が出ます。

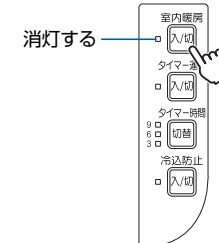
アドバイス 2

室内暖房について

- 室内暖房を使用することで、室温＋約10℃でトイレ室内をあたためることができます。（当社試験条件で、室温5℃のときの1時間後の温度　トイレ寸法：800mm（幅）×1700mm（奥行き）×2000mm（高さ））
- 室内の広さ、壁・床質、建築構造、外気温などの条件により、設定温度まで室温が上昇しないことがあります。

室内暖房を使わないとき

■ もう一度 [室内暖房 入/切] を押す

- 「室内暖房」ランプが消灯します。

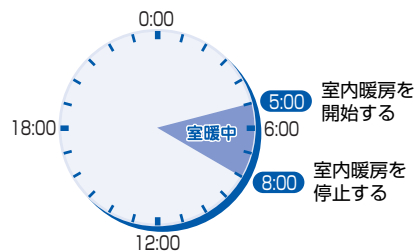
約10秒後に自動で止まります。

アドバイス 2
- 暖房を始めてから12時間たつと自動で止まります。（切り忘れ防止）
- 室温が設定温度（上限は約25℃）以上のときは、約10秒間モーターが作動し、自動で止まります。

使いかた

タイマー室内暖房の使いかた

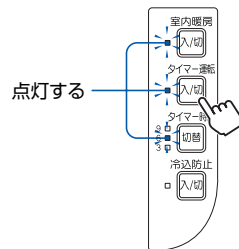
タイマー室内暖房とは…

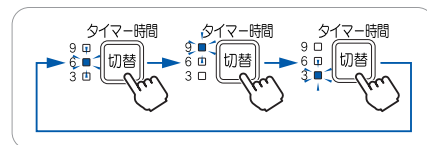
●一度設定すると、毎日その時間に自動でトイレ室内をあためます。
室内暖房時間は、3・6・9時間のいずれかに設定できます。

■例えば…午前5時から8時まで（3時間）室内暖房をする場合

例）午前5時から8時まで（3時間）室内暖房をする場合

1 室内暖房を開始したい時刻（午前5時）になったら タイマー運転 入/切 を押す

室内暖房を始めます。

●「室内暖房」ランプ、「タイマー運転」ランプおよび「タイマー時間」ランプ6が点灯します。

2 タイマー時間 切替 を押して3時間を設定する

●「タイマー時間」ランプ3が点灯するまで押してください。

室内暖房時間の変更

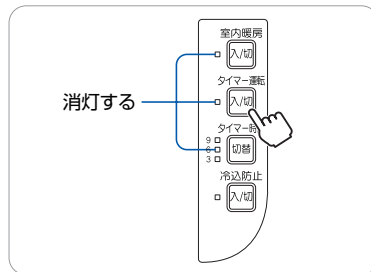
タイマー時間 切替 を押す

●スイッチを押すたびに、3→6→9の順でランプの点灯が変わります。
設定したい時間をお選びください。

タイマー室内暖房を使わないとき

タイマー運転 入/切 を押す

室内暖房をやめます。

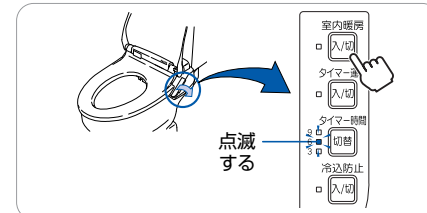
●「室内暖房」ランプ、「タイマー運転」ランプおよび「タイマー時間」ランプが消灯します。

アドバイス 1　室内暖房開始時間を変更したいときは、いったんタイマー室内暖房をやめてから、開始したい時刻にもう一度 タイマー運転 入/切 を押してください。

室内暖房温度の調節のしかた

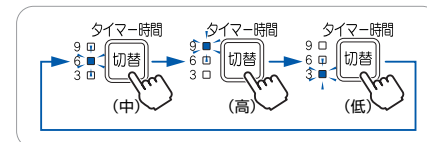
●高・中・低のいずれかに設定変更できます。

1 室内暖房操作部の 室内暖房 入/切 を10秒以上押す

●「タイマー時間」ランプ6が点滅します。

温度調節が可能になります。

2 タイマー時間 切替 を押す

●スイッチを押すたびに、3（低）→6（中）→9（高）の順でランプの点滅が変わり、3段階の温度調節ができます。

タイマー時間 切替 （中） タイマー時間 切替 （高） タイマー時間 切替 （低）

3 もう一度 室内暖房 入/切 を押す

温度調節が完了しました。

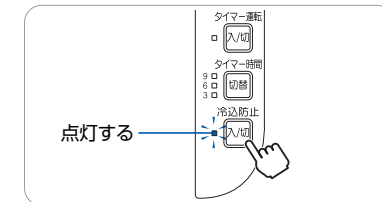
●室内暖房中に温度調節をすると室内暖房が停止します。もう一度 室内暖房 入/切 を押してください。
●タイマー室内暖房中に温度調節をすると一時的に室内暖房が停止します。設定が完了すると作動を再開します。

冷込防止の使いかた

●室温が約5℃以下になると自動で暖房をはじめ、約7〜10℃（当社試験条件による）で暖房を停止します。

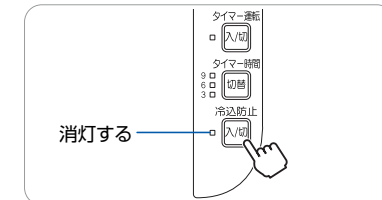
冷込防止 入/切 を押す

●「冷込防止」ランプが点灯します。

室温が約5℃以下になると自動で暖房を始めます。

冷込防止を使わないとき

もう一度 冷込防止 入/切 を押す

冷込防止をやめます。

●「冷込防止」ランプが消灯します。

アドバイス 2　室温が5℃以下になるおそれのある場合は を押してください。

使いかた

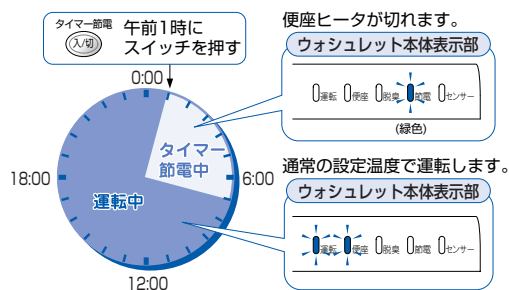
節電機能

節電機能には「タイマー節電」「おまかせ節電」「スーパーおまかせ節電」の3通りがあります。

タイマー節電とは…

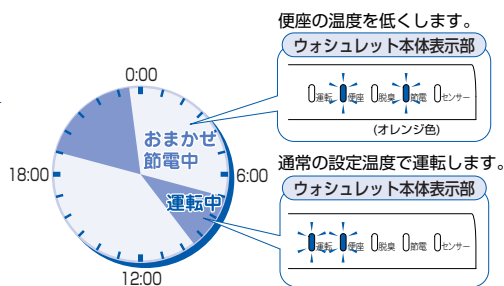
●一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。
タイマー節電中は便座ヒータが切れます。
節電時間は、3・6・9時間のいずれかに設定できます。

☞ タイマー節電の設定 41ページ

■例えば…午前1時から7時まで（6時間）節電をする場合

おまかせ節電とは…

●トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて（約26℃）節電します。

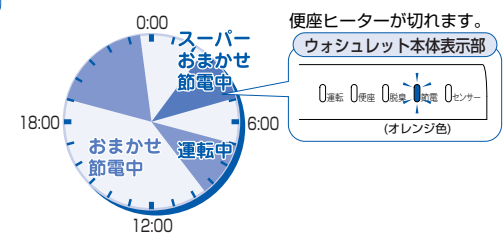
■例えば…午前9時30から午後1９時まではほとんど使わない場合

●同じ時間帯に1週間のうち2回程度のご使用であれば、あまり使用しない時間として節電していきます。

☞ おまかせ節電の設定 42、43ページ

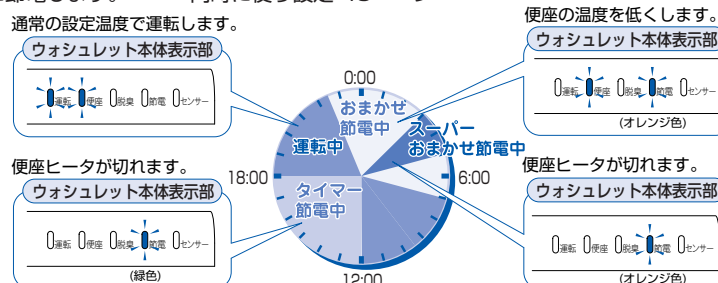
スーパーおまかせ節電とは…

●おまかせ節電しながら使用しない時間は、自動で便座ヒータを切って節電します。

☞ スーパーおまかせ節電の設定 42、43ページ

■例えば…午前3時から5時まで全く使わない場合

タイマー節電とスーパーおまかせ節電（おまかせ節電）を同時に使うことができます。

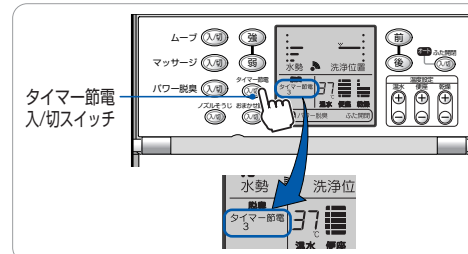
例えば、次のように節電します。 ☞ 同時に使う設定 43ページ

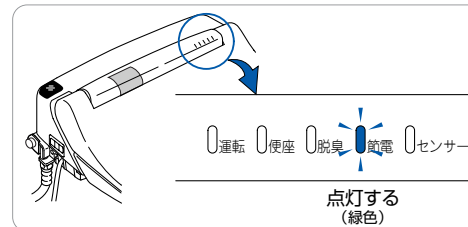
●タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて、節電します。

タイマー節電のしかた

例）午前1時から7時まで（6時間）節電をする場合

1 節電を開始したい時刻（午前1時）になったらリモコンの タイマー節電 入/切 を押す

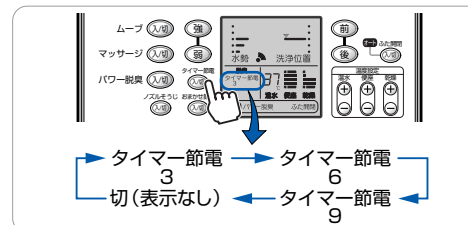
節電を始めます。

●リモコン表示部に「タイマー節電3」が表示されます。 アドバイス 1

2 もう一度 タイマー節電 入/切 を「タイマー節電6」が表示されるまで押す

●タイマー節電中はウォシュレット本体表示部の「節電」ランプ（緑色）が点灯します。

節電時間の変更

タイマー節電 入/切 を押す アドバイス 2

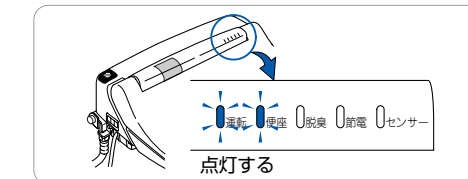
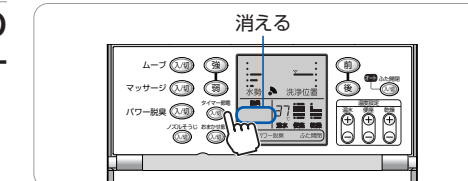
●スイッチを押すたびに、3→6→9→切（表示なし）の順で表示が変わります。
設定したい時間をお選びください。

※節電時間（3･6･9時間）を変更したいときは、節電を開始する時刻に再度設定し直してください。

タイマー節電を使わないとき

「タイマー節電」と「時間」の表示が消えるまで タイマー節電 入/切 を押す

節電をやめます。

●ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプ、「便座」ランプが点灯します。

消える

アドバイス 1 **タイマー節電中でも使えます。**タイマー節電中でも便座に座ると、一時的に便座ヒータが入ります。便座があたたまるまで約15分かかります。

アドバイス 2 節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、開始したい時刻にもう一度 タイマー節電 入/切 を押してください。

使いかた

おまかせ節電・スーパーおまかせ節電のしかた

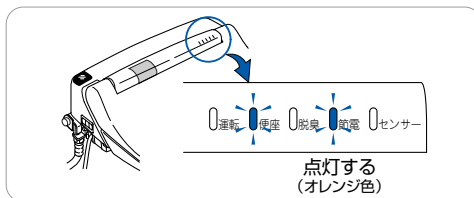
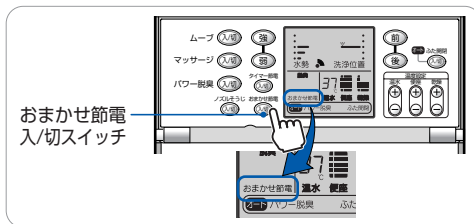
おまかせ節電をする

リモコンの おまかせ節電 入/切 を押す

●リモコン表示部に「おまかせ節電」が表示されるまで押してください。

自動で便座の温度を下げて、節電を始めます。

アドバイス 1・2

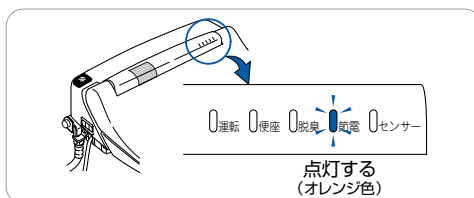
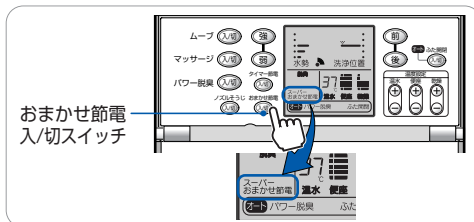
●あまり使用しない時間になるとウォシュレット本体表示部の「節電」ランプ(オレンジ色)、「便座」ランプ（緑色）が点灯します。

スーパーおまかせ節電をする

リモコンの おまかせ節電 入/切 を押す

●リモコン表示部に「スーパーおまかせ節電」が表示されるまで押してください。

自動で便座の温度を下げたり便座ヒータを切って、節電を始めます。

アドバイス 3

●あまり使用しない時間になるとウォシュレット本体表示部の「節電」ランプ(オレンジ色)が点灯します。

アドバイス 1　トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで、2～3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。

アドバイス 2　**おまかせ節電中でも使えます**
おまかせ節電中の便座温度は約26℃に設定していますが、便座に座ると一時的にあたたかくなります。

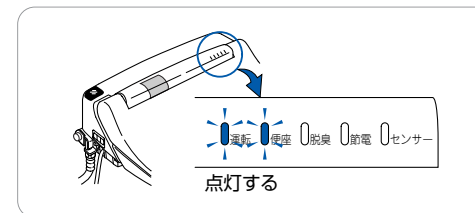
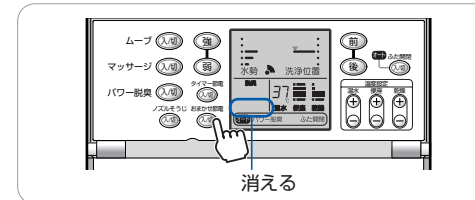
アドバイス 3
- トイレをあまり使用しない時間帯をみつけるまで、2～3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。
- トイレを使用しない時間帯をみつけるまで、約10日かかります。
- **スーパーおまかせ節電中でも使えます。**
  - ・トイレをあまり使用しない時間帯は便座温度を約26℃に設定していますが、便座に座ると一時的にあたたかくなります。
  - ・トイレを使用しない時間帯は便座のヒータを切って節電しますが、便座に座ると一時的にあたたかくなります。便座があたたまるまで約15分かかります。

おまかせ節電・スーパーおまかせ節電を使わないとき

おまかせ節電 入/切 を押す

●「おまかせ節電」「スーパーおまかせ節電」の表示が消えるまで押してください。

おまかせ節電をやめます。

●ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプ、「便座」ランプが点灯します。

タイマー節電とスーパーおまかせ節電(おまかせ節電)を同時に使うとき

○スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

節電を開始したい時刻に、 タイマー節電 を押す

● タイマー節電のしかたは41ページ

おまかせ節電 入/切 を押す

● スーパーおまかせ節電・おまかせ節電のしかたは42ページ

かしこく節電

●温度調節を低めにしましょう
寒さ冷たさを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。

●便ふたを閉めましょう
便ふたを閉めておくと便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。

●長時間使用しないときは「運転入/切」スイッチを「切」にしましょう
運転 入/切 を「切」にしておくと節電になります。

使いかた

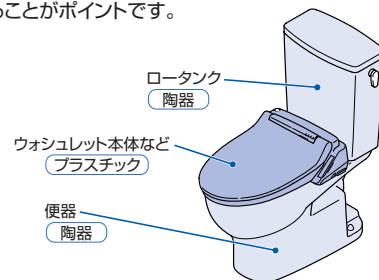
お手入れのしかた

お 手 入 れ の 前 に

ピカピカの便器や水栓で、イメージアップ

便器などをピカピカにしておくと、それだけで印象がワンランクアップします。

掃除をラクにするコツ

便器や便座の汚れ、結露や床にこぼれた小水などは、気が付いたらサッとふき取る習慣をつけましょう。
家族の協力を得て、気づいた人がその場で掃除をすることがポイントです。

ご注意

**掃除方法も使いかたを間違えると傷つけてしまいます。
下記の道具・洗剤は使用しないでください。**

部分	使用しないもの
プラスチック(樹脂)部分・ゴム部分	シンナー、ベンジン、クレンザー、ナイロンたわし、かわいた布、トイレットペーパー
陶器部分	強酸性・強アルカリ性・研磨剤入りの洗剤、金属ブラシ、研磨入りナイロンたわし
金属部分	たわし、ナイロンたわし、クレンザー、みがき粉、粗い粒子を含む洗剤 シンナー、ベンジン、塩素系洗剤、強アルカリ性薬品

日常のお手入れならこの道具(基本道具)

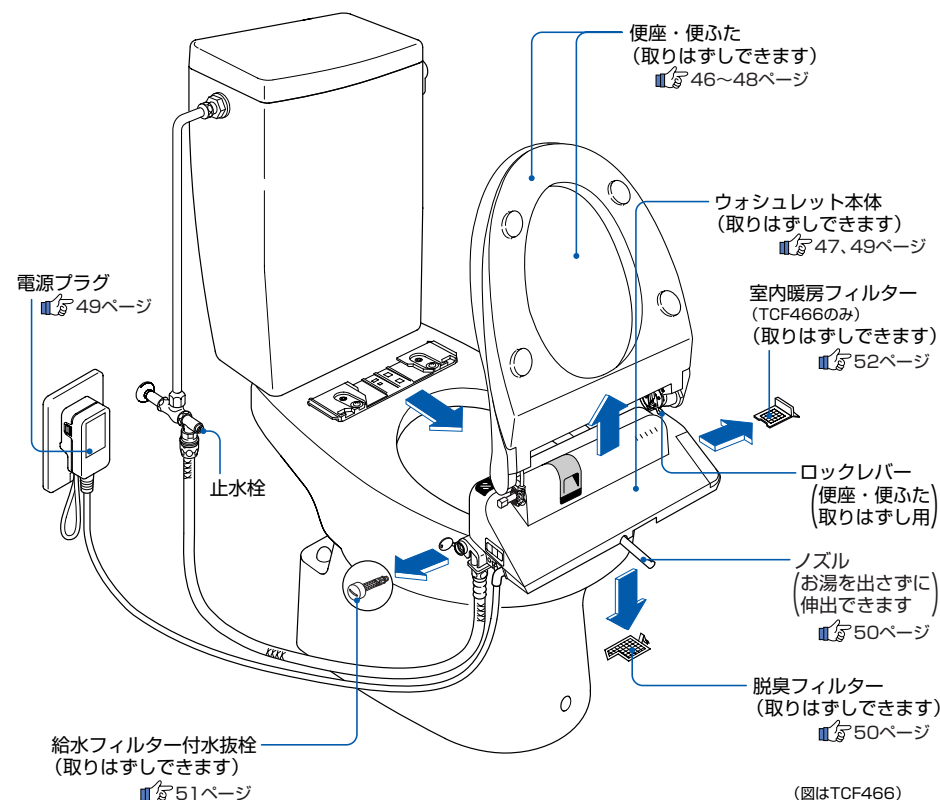
やわらかい布

台所用洗剤
(中性)

ウォシュレットクリーナー

各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます

ご注意ください!

お手入れのときには安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
※「ノズルそうじスイッチ」機能を使用時は除きます。

(図はTCF466)

お手入れ

日常のお手入れ

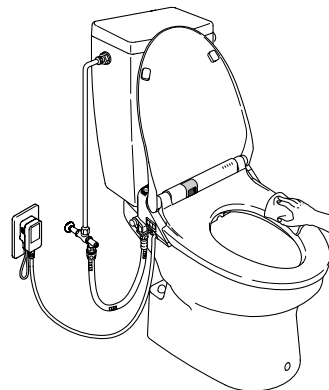
ウォシュレット本体、便座、便ふたのお手入れ

やわらかい布で水ぶきする

●水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。

アドバイス 1・2

ご注意ください！

便座・便ふたは容易に取りはずして、
お手入れができるようになっています。
●お手入れ中に無理な力を加えると、便座・便ふたがはずれることがあります。
☞ 便座・便ふたがはずれたときは
48ページをご覧のうえ、取り付けてください。

汚れがひどいときは…

●ウォシュレットクリーナー、またはうすめた台所用洗剤（中性）をふくませたやわらかい布でふき取ってください。
●その後、水ぶきを行ってください。
☞ ウォシュレットクリーナーのお求めは65ページ

便器用洗剤が付着したときは…

●やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。

便器のお手入れ

●トイレ用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

床のお手入れ

●便器から飛び出した小便や器具についた露が床に落ちたときは、よくしぼったぞうきんでふき取ってください。
●掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよくしぼったぞうきんでふき取ってください。

ご注意ください！

便器内を洗剤でお手入れするときは…
●便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目（3分以内）に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
また、便器についた洗剤は確実にふきとってください。
（便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。）

アドバイス 1
●製品はプラスチックでできていますので、かわいた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。
●ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。
洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないようしっかりふき取ってください。

アドバイス 2
着座センサー、人体検知センサー、リモコン送信部・受信部をきれいにしましょう！
汚れていると各機能が作動しないことがあります。 ☞ 5、57〜61ページ

念入りなお手入れ

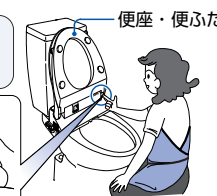
ウォシュレット本体、便座、便ふたのお手入れ

●便座・便ふたが取りはずせますので、すみずみまで掃除できます。

便座・便ふたのはずしかた

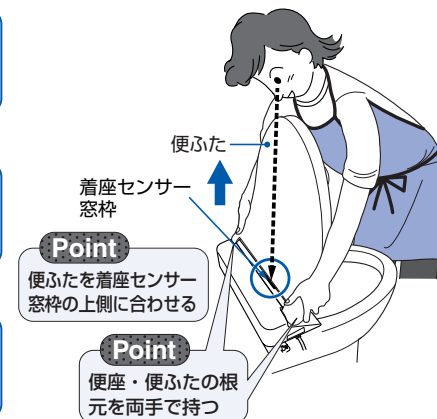
1 電源プラグを抜く

※便座・便ふたを取りはずす前に安全のため電源プラグを抜いてください。
また、抜いた電源プラグに水がかからないようにしてください。

2 便座・便ふたを開けて、ロックレバー（灰色）を「カチッ」と音がするまで確実に上げる

3 便座・便ふたの根元を一緒に持つ

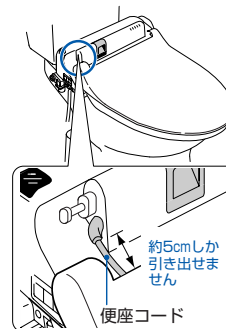
着座センサー窓枠（黒色）の上側に便ふたを合わせる

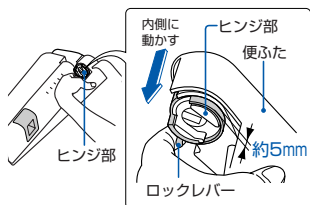
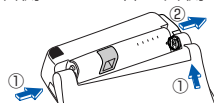
便座・便ふたを両手で真上に引き上げる

便ふた
着座センサー窓枠
Point 便ふたを着座センサー窓枠の上側に合わせる
Point 便座・便ふたの根元を両手で持つ

※便座コードは約5cmしか引き出せません。
無理に引っ張ったりしないでください。（断線の原因になります。）
※斜めに引き上げたり、無理に力を加えないでください。（破損の原因になります。）

4 取りはずした便座・便ふたを図のように便器の上に置く

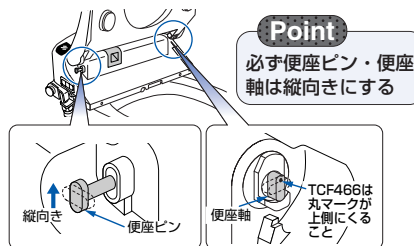
5 ウォシュレット本体および便座・便ふたの掃除をする

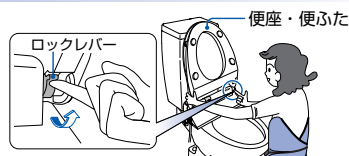
● ☞ お手入れのしかたは46ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

便座から便ふたをはずすことができます！

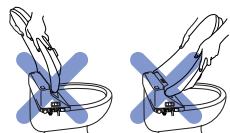
【取りはずしかた】
❶右側のロックレバーに指をかけて、ヒンジ部を内側に動かす（約5mm）
❷便ふたを便座から取りはずす
※便座からロックレバー、ヒンジ部ははずれません。

【取り付けかた】
❶便ふたを左方向から便座に重ね合わせる
❷右側のヒンジ部を外側に動かす

便座・便ふたの取り付けかた

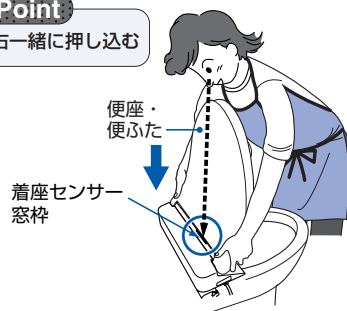
6 便座ピンと便座軸が縦向きになっていることを確認する

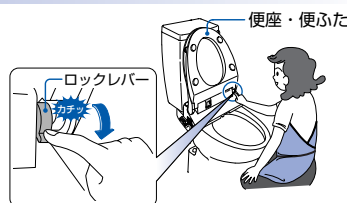
※縦向きでないときは…
- TCF426の場合、ペンチなどで回して縦向きにしてください。
- TCF466の場合、リモコンの を押して10秒後に を押して縦向きにしてください。（丸マークが上側になります）

Point 必ず便座ピン・便座軸は縦向きにする

7 ロックレバー（灰色）が上がっていることを確認する

※ロックレバーを確実に上げた状態でないと、便座・便ふたの取り付けができません。

8 便座・便ふたを着座センサー窓枠（黒色）の上側に合わせて、便座ピン・便座軸に強く押し込む

※便座コードの青い線がねじれないように取り付けてください。

Point 左右一緒に押し込む

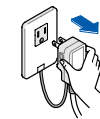
※傾けた状態で押し込むと破損につながります。

9 ロックレバー（灰色）を「カチッ」と音がするまで確実に下ろす

※ロックレバーが下りないときは便座・便ふたが取り付いていません。
もう一度、便座・便ふたを取り付け直してください。

10 電源プラグを差し込む

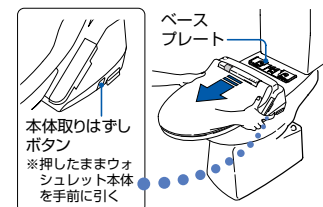
ウォシュレット本体と便器のすき間のお手入れ（月に1度が目安です）

○ウォシュレット本体をはずして、便器の上面やウォシュレット本体底面も掃除できます。

1 電源プラグを抜く

※ウォシュレット本体を取りはずす前に安全のため電源プラグを抜いてください。
また、抜いた電源プラグに水がかからないようにしてください。

2 ウォシュレット本体を取りはずす

- ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

※給水ホース・電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。

3 掃除をする

- お手入れのしかたは46ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

4 ウォシュレット本体を取り付ける

❶ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
❷便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

5 電源プラグを差し込む

定期的なお手入れ

電源プラグのお手入れ・点検

○電源プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

1 電源プラグを抜く

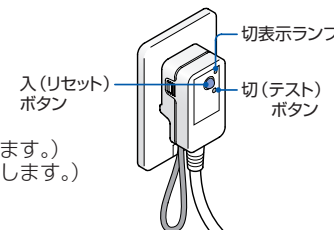
2 掃除をする

- 電源プラグの刃などに付いたほこりをかわいた布で取り除いてください。

3 電源プラグを差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

4 点検をする

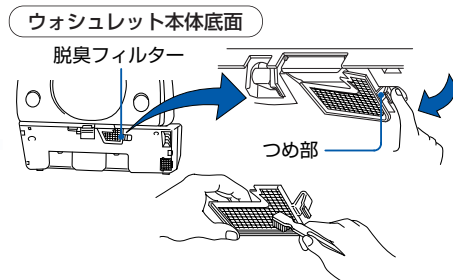
❶「切（テスト）」ボタンを押す（「切表示」ランプが点灯します。）
❷「入（リセット）」ボタンを押す（「切表示」ランプが消灯します。）

以上のように作動すれば正常です。

※「切表示」ランプが点灯しているときは通電されません。
点検後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

脱臭フィルターのお手入れ（月に1度が目安です）

●においが気になる場合は、ウォシュレット本体をはずして脱臭フィルターの掃除を行ってください。

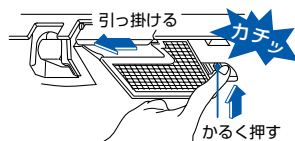
1 脱臭フィルターをはずす

●フィルターのつめ部を左側に押して、手前に引いてください。

2 掃除をする

●フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。アドバイス 1

3 脱臭フィルターを取り付ける

●フィルターの左側をウォシュレット本体に引っ掛け、右側にあるつめ部を「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

※フィルターなしで、絶対に使用しないでください。（故障の原因になります。）

ノズルのお手入れ

●ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

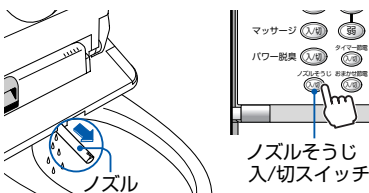
1 ノズルを出す

●リモコンの ノズルそうじ（入/切） を押してください。

▼

ノズルが出てきます。

アドバイス 2

●ノズルは、約5分後に自動で収納します。

2 掃除をする

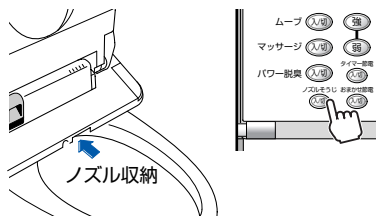
●やわらかい布で水ぶきをしてください。

※ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。（破損や故障の原因になります。）

3 ノズルを収納する

●もう一度 ノズルそうじ（入/切） を押してください。

▼

ノズルが収納し、自動でノズルを洗浄します。

アドバイス 1 フィルターの掃除
●フィルターは水洗いできますが、取り付ける前に水気を取ってください。
フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。 交換部品／別売品は65ページ

アドバイス 2 ノズルの根元からお掃除のための水が出ます。

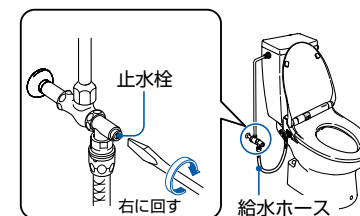
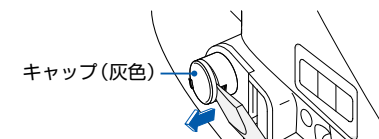
給水フィルターのお手入れ

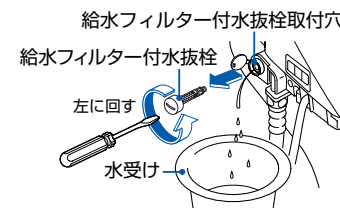
●洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルターの掃除を行ってください。

1 止水栓を閉めて給水を止める

●止水栓を⊖ドライバーで閉めてください。
●ロータンクレバーを回してロータンクの水を流してください。（給水管内の圧抜きです。）

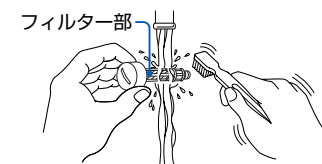
⚠ 注意

禁止　止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
●水が噴き出します。

2 キャップ（灰色）を⊖ドライバーで開ける

3 給水フィルター付水抜栓をはずす

●給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずしてください。

4 掃除をする

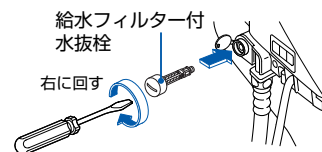
●フィルターの網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。

※小さいゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。

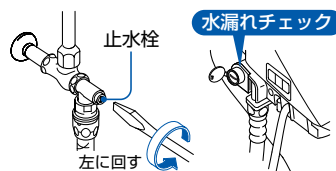
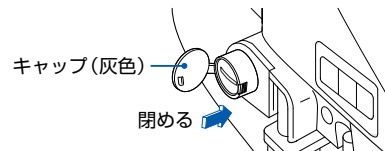
※給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも、綿棒などで取り除いてください。アドバイス 3

5 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

●給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締めてください。

⚠ 注意

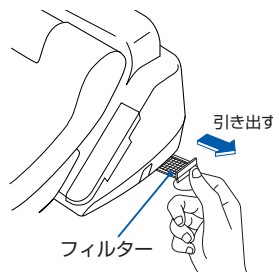
禁止　給水フィルター付水抜栓は確実に締める
●確実に締めないと水漏れの原因になります。

アドバイス 3 フィルターの掃除
●洗剤は使わず水洗いしてください。
●フィルターをはずしたり、破ったりしないでください。
フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。
交換部品／別売品は65ページ

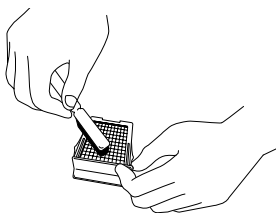
6 止水栓を開ける

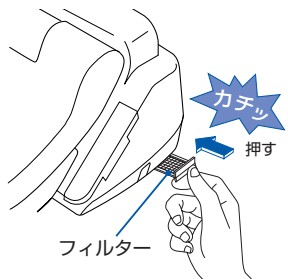
●止水栓を⊖ドライバーで開けてください。
※給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。

7 キャップ（灰色）を閉める

室内暖房フィルターのお手入れ（TCF466のみ）

●室内暖房の風量が少なくなったと感じたら、室内暖房フィルターの掃除を行ってください。

1 室内暖房フィルターをはずす

●フィルターを引き出して、はずしてください。

2 掃除をする

●フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。 アドバイス 1

3 室内暖房フィルターを取り付ける

●フィルターの上下を確認してください。
（ウエ表示あり）
●フィルターを「カチッ」と音がするまで押してください。
（上下を逆にすると挿入できません。）
※フィルターなしで絶対に使用しないでください。
（故障の原因になります。）

アドバイス 1 フィルターの掃除
●フィルターは水洗いができますが、取り付ける前に水気を取ってください。
フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。
交換部品／別売品は65ページ

凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

凍結が予想されるとき アドバイス 2

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。
凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。
製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

ご注意ください！ 凍結予防の作業前には、オート ふた開閉 入/切 を「切」にして、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

水抜きのしかた

1 ロータンクの水を抜く

❶止水栓を⊖ドライバーで閉めて、給水を止める

❷ロータンクレバーを大洗浄側に回し、ロータンクの水を抜く アドバイス 3

2 配管の水を抜く

❶リモコンの ノズルそうじ 入/切 を押す
（製品内部の残水を抜きます。）

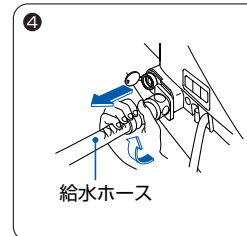
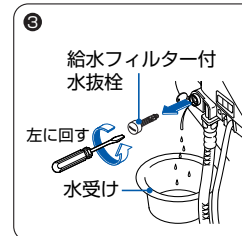
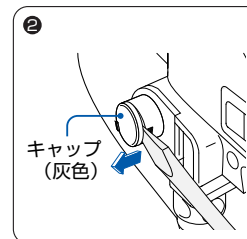
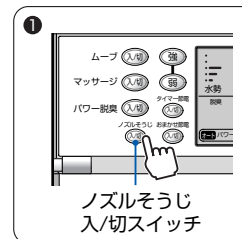
❷キャップ（灰色）を⊖ドライバーで開ける

❸給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずす

⚠注意

禁止

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
●水が噴き出します。

❹給水ホースを水平にして、ホース内の水を抜く（約30ml）

アドバイス 2 凍結が予想されるとき
節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。
タイマー節電を使わないときは41ページ
おまかせ節電・スーパーおまかせ節電を使わないときは43ページ

アドバイス 3 ロータンクの水が流れてしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。

❺もう一度、(ノズルそうじ 入/切)を押す
（ノズルを元に戻します。）

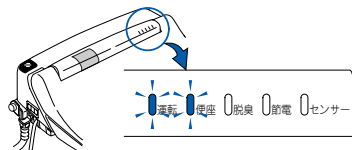
❻給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める

⚠注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める
必ず守る
●確実に締めないと、水漏れの原因になります。

❼キャップ（灰色）を閉める

3 ウォシュレット内を保温する

❶ (運転 入/切) が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度設定を「高」にする
❷便ふたを閉める

長期間使わないときの処置

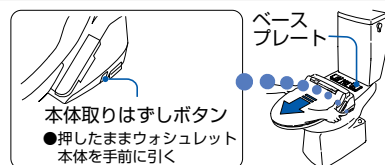
●長期間使用しないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因になります。
また、製品が凍結するおそれがありますので水抜きを行ってください。アドバイス 1

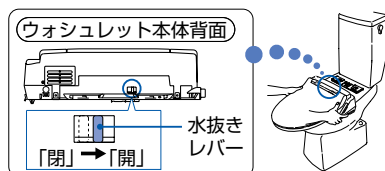
水抜きのしかた

1 ロータンクの水を抜く ☞ 53ページ

2 配管の水を抜く ☞ 53、54ページ

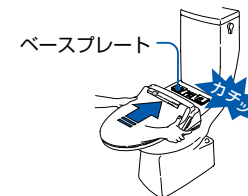
3 ウォシュレット本体を取りはずす

❶ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引く

4 水抜きレバーを「開」位置にしてウォシュレット本体内の水を抜く

※ウォシュレット本体をはずさないと水抜きレバーの操作はできません。
●ウォシュレット本体下側から水（約40ml）が便器内に出ます。
水が完全に抜けるまで約15秒かかります。

5 水抜きレバーを「閉」の位置に戻す

アドバイス 1
■冬季に帰省されるとき
■別荘などで使用されるとき
水抜きをしましょう！冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。
凍結予防のため、必ず水抜きをしてください。

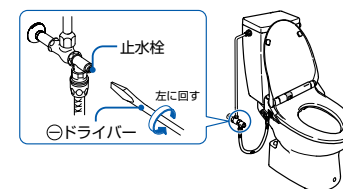
6 ウォシュレット本体を取り付ける

❶ウォシュレット本体中心とベースプレートの中心を合わせる
❷便器面にウォシュレット本体をすべらせて、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

7 電源プラグを抜く

8 便器に不凍液を入れる

水抜き後に再通水するとき

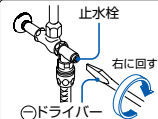
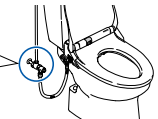
1 止水栓を開ける

●止水栓を⊖ドライバーで開ける
※配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認してください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 ノズルから吐水させる アドバイス 2

●着座センサーを白紙でおおい、(おしり)または(やわらか)(ビデ)を押してノズルから吐水させます。
（吐水は紙コップなどで受けてください。）

アドバイス 2 残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯を浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

はじめの設定一覧

各機能の工場出荷時の設定は以下のようになっています。

機能	はじめの設定	お好みで変更できる設定	TCF426	TCF466	参照ページ
便座温度	便座	温度設定 温水 便座 乾燥 スイッチで、温度の調節ができます。	●	●	32
温水温度	37℃ 温水		●	●	
乾燥温度	乾燥		―	●	
脱臭（標準の脱臭）	入	標準の脱臭を「入」「切」できます。	●	●	32、33
オートパワー脱臭	入	オートパワー脱臭を「入」「切」できます。	●	●	32、33
パワー脱臭	切	パワー脱臭を「入」「切」できます。	●	●	33
オート開閉	入	オート開閉を「入」「切」できます。	―	●	36
	便ふたが自動で閉まる時間：約90秒	便ふたが自動で閉まる時間を変更できます。（約6秒に変更できます。）	―	●	35、36
	切	便座と便ふたを自動に同時で開けることができます。	―	●	36
室内暖房	切	室内暖房を「入」「切」できます。	―	●	37
タイマー室内暖房	切	タイマー室内暖房を「入」「切」できます。	―	●	38
		タイマー室内暖房時間の変更ができます。	―	●	38
冷込防止	切	冷込防止を「入」「切」できます。	―	●	39
タイマー節電	切	タイマー節電を「入」「切」できます。	●	●	41
		節電時間の変更ができます。	●	●	41
おまかせ節電・スーパーおまかせ節電	切	おまかせ節電・スーパーおまかせ節電を「入」「切」できます。	●	●	42、43
		タイマー節電・スーパーおまかせ節電（おまかせ節電）の2つを同時に使うことができます。	●	●	43

故障かな？! と思ったら

故障かな？! と思ったらまずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。
それでも直らないときは、販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご相談ください。

⚠ 注意

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

■修理を依頼される前に次のことを確認してください。

全機能

現象	確認（原因）	処置
全く動かない	停電したりブレーカが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。 49ページ
	ウォシュレット本体表示部の全てのランプが消灯していませんか。	ウォシュレット本体操作部の 運転 入/切 を押してください。 27ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 23ページ

おしり洗浄・やわらか洗浄・ビデ洗浄

現象	確認（原因）	処置
洗浄水が出ない	断水していませんか。	止 を押し、断水が解除するまでお待ちください。
	止水栓が閉まっていませんか。	止水栓を開けてください。 27ページ
	給水カプラにプラグがきちんと差し込まれていますか。	止水栓を閉めてから、プラグをきちんと差し込み直してください。 24ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 61ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 23ページ
洗浄水勢が弱い	水勢の設定が弱くなっていませんか。	リモコンの「水勢調節」スイッチの 強 を押してください。 30ページ
	給水フィルターが詰まっていませんか。	給水フィルターを掃除してください。 51ページ
洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	リモコンの 温水 ＋ － で調節してください。 32ページ
洗浄水が途中で止まった	おしり やわらか または ビデ を押してから約5分後に自動で止まります。	もう一度 おしり やわらか または ビデ を押してください。 30ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 61ページ

おしり洗浄・やわらか洗浄・ビデ洗浄

現　象	確　認（原　因）	処　置
便座に座ると、ノズル付近から、便器内に数秒間水が流れる	着座センサーがはたらくとお湯を出す準備のため水を流します。また、便座に座っているときに体勢を変えると着座センサーが切／入し、ノズル付近から数秒間水が流れます。故障ではありません。	–

暖房便座

現　象	確　認（原　因）	処　置
便座があたたかくならない	便座温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	リモコンの 便座 ＋ － で調節してください。 ☞32ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座るとヒーターが入り、約15分であたたかくなります。 ☞41ページ
	おまかせ節電（スーパーおまかせ節電）中になっていませんか。	便座に座ると一時的にあたたかくなります。 ☞42ページ
便座が冷たくなった	便座に座ってから約1時間後に自動で便座ヒータが切れます。便座から離れると自動で便座ヒータが入ります。	–

温風乾燥（TCF466のみ）

現　象	確　認（原　因）	処　置
温風温度が低い	乾燥温度の設定が低くなっていませんか。	リモコンの 乾燥 ＋ － で調節してください。 ☞32ページ
温風乾燥が途中で止まった	乾燥 を押してから約10分後に自動で止まります。	もう一度 乾燥 を押してください。 ☞31ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞61ページ
温風乾燥が全く動かない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞61ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 ☞23ページ

室内暖房（TCF466のみ）

現　象	確　認（原　因）	処　置
室内暖房が作動しない	室温が設定温度（上限は約25℃）以上では、作動しません。	–
	室内暖房温度の設定が低くなっていませんか。	室内暖房スイッチの温度設定を高くしてください。 ☞39ページ
おしり・やわらか・ビデ洗浄中に室内暖房の風が冷たくなった	消費電力量が上がりすぎないように、一時的に室内暖房の温風温度を下げることがあります。	–
正しい時間に室内暖房しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。	その日は正常にタイマー室内暖房がはたらかない場合がありますが、翌日からはもとのとおりに、タイマー室内暖房がはたらくようになります。
風量が少なくなった	室内暖房フィルターが詰まっていませんか。	室内暖房フィルターを掃除してください。 ☞52ページ

脱臭

現　象	確　認（原　因）	処　置
便座から立ち上がると脱臭の音が大きくなる	はじめは、オートパワー脱臭が「入」になっています。オートパワー脱臭は便座から立ち上がると、吸い込む力をアップさせて脱臭するように設定されています。	–
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞61ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 ☞23ページ
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていませんか。	●脱臭フィルターを掃除してください。 ☞50ページ ●脱臭フィルターの掃除をしてもにおいが気になる場合は脱臭カートリッジの交換をおすすめします。 ☞62ページ
脱臭が勝手に作動した	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。 ●トイレ内の手洗器を使用したとき ●掃除のとき ●ロータンクレバーを操作したとき など	–

節電機能

現　象	確　認（原　因）	処　置
スーパーおまかせ節電（おまかせ節電）のスイッチを入れても節電しない	トイレを使用しない時間帯を見つけるまで約10日かかります。（スーパーおまかせ節電）	–
	トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。（おまかせ節電）	–
	同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	–
正しい時間に節電しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。	その日は正常にはたらかない場合がありますが、翌日からは通常通りにはたらくようになります。
	電源プラグを抜いたり、停電したときにリモコンの電池交換をしませんでしたか。（設定が消えることがあります。）	リモコンの タイマー節電 入/切 または、おまかせ節電 入/切 を押し、もう一度設定し直してください。徐々に正しい時間に節電し直します。 ☞41、42ページ
節電しなくなった	リモコンの電池交換をしませんでしたか。 （設定が消えることがあります。）	リモコンの タイマー節電 入/切 または、おまかせ節電 入/切 を押し、もう一度設定し直してください。 ☞41、42ページ

ソフト閉止（TCF426のみ）

現　象	確　認（原　因）	処　置
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって少し速さが変わります。故障ではありません。	–
便座・便ふたカバーをつけると閉まりが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。 故障ではありません。	–

オート開閉（TCF466のみ）

現　象	確　認（原　因）	処　置
便ふたが自動で開閉しない	オート開閉が「切」になっていませんか。（「切」のときはリモコン表示部の「ふた開閉」が消えています。）	リモコンの オート ふた開閉（入/切） を押して、「入」にしてください。 ☞ 34、36ページ
	ウォシュレット本体表示部の「センサー」ランプが点灯していますか。便器の正面以外のところに立っていませんか。	便器の正面に立ってください。 ☞ 34、35ページ
	着座センサーや人体検知センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞ 61ページ
	便ふたカバーが浮いた状態で取り付いていませんか。または、厚手の便ふたカバーを取り付けていませんか。	浮かないように正しく取り付けてください。便座・便ふたカバーは、必ずTOTO専用カバーをご使用ください。 ☞ 65ページ
	着座センサーや人体検知センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
	便器の正面のドアや壁に飾り物をしていませんか。	飾り物の位置を変えてください。
	便ふたをリモコンや手で閉めませんでしたか。このときは、便ふたが繰り返し開閉しないようにしているため、約10秒間は自動で開きません。	便器から30cm以上離れて、10秒以上たった後に便器に近づくと自動で開きます。 ☞ 34ページ
	〈便ふたが開いているとき〉便座に座った時間が約6秒以下のときは、便ふたは約5分後に自動で閉まります。	－
	〈便座・便ふたが開いているとき〉便座・便ふたを開けた状態で、便器の前に立った時間が約6秒以下のときは、便座・便ふたは約5分後に自動で閉まります。	－
	ウォシュレット本体表示部の「センサー」ランプが消灯していますか。便器の正面に立っていると便ふたは自動で閉まりません。	便器から離れて約90秒お待ちください。 ☞ 34、35ページ
便ふたが勝手に閉まる	座りかた、立つ位置、服の色、布地によって、着座センサーや人体検知センサーが検知しにくいことがあります。	便座に深く腰掛けたり、立つ位置を変えたり、衣服を持ち上げ、肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で、着座センサーや人体検知センサーがおおわれていませんか。着座センサーや人体検知センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服またはゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便ふたが開いているときに途中で止まる（または、閉まる）	電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物にあたると次から便ふたが途中で止まる（または、閉まる）ことがあります。（3回続けて開いた位置を記憶します。）	障害物が無い状態で電源プラグを一度はずしてから差し込み、リモコンの を押してください。 ☞ 34ページ

リモコン便座・便ふた開閉（TCF466のみ）

現　象	確　認（原　因）	処　置
リモコンで便座・便ふたが開閉しない	リモコンの乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池に交換してください。 ☞ 26ページ
	リモコン送信部・受信部にゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
	便座と便ふたが便座ピンに正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。 ☞ 48ページ
便ふたが開いているときに途中で止まる（または、閉まる）	電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物にあたると次から便ふたが途中で止まる（または、閉まる）ことがあります。（3回続けて開いた位置を記憶します。）	障害物が無い状態で電源プラグを一度はずしてから差し込み、リモコンの を押してください。 ☞ 34ページ

リモコン

現　象	確　認（原　因）	処　置
リモコンで操作できない	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池に交換してください。 ☞ 26ページ
	乾電池の⊕⊖の方向をまちがえていませんか。	乾電池を正しく入れてください。 ☞ 26ページ
	リモコン送信部・受信部が何かでおおわれていませんか。	ぞうきんなどおおっているものを取り除いてください。
	リモコン送信部・受信部にゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞ 61ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 ☞ 23ページ
	リモコンのスイッチを押したとき、リモコン表示部がいったん消えていませんか。この場合は乾電池が消耗しています。	新しい乾電池に交換してください。 ☞ 26ページ
リモコンの電池を取り替えたらタイマー節電、オート開閉（TCF466のみ）などの設定が変わった	電池を取り替えると設定が変わります。（例…タイマー節電を「切」にしていても「入」になる）	もう一度設定をやり直してください。

着座センサー

現　象	確　認（原　因）	処　置
便座に座っていないのに、スイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていませんか。	着座センサーをおおわないようにしてください。 ☞ 5ページ
	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのに、おしり洗浄や脱臭などが作動しないまたは、オート開閉（TCF466のみ）が作動しない	座りかた、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	便座に深く腰掛けたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で着座センサーがおおわれていませんか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服またはゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。

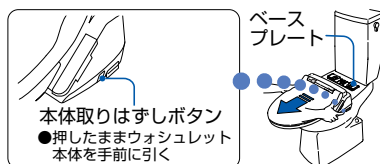
その他

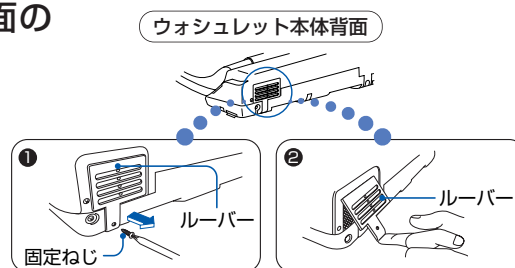
現　象	確　認（原　因）	処　置
便座に座っていないのに、ウォシュレット本体ノズル付近から水が出る	次のような場合、着座センサーが検知して作動することがあります。故障ではありません。 ●トイレ内の手洗器を使用したとき ●掃除のとき　●ロータンクレバーを操作したとき　など	－
	トイレ内が冷え込むと凍結予防のため、ウォシュレット本体が自動で水抜きすることがあります。	－
	便座から立ち上がると、水が約30秒出ます。	－
ウォシュレット本体がガタつく	ウォシュレット本体を固定しているベースプレートのボルトが緩んでいませんか。	ベースプレートのボルトをしっかり締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続部のナットがゆるんでいませんか。	モンキーレンチで増し締めしてください。
タンクに水が給水されない	ボールタップ本体が傾いて浮玉がタンク壁などに当たっていませんか。	浮玉が当たらないようにボールタップ本体を取り付け直してください。 ☞ 15、18、20ページ

脱臭カートリッジの取り替えかた

●脱臭フィルターを掃除しても、まだにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。 ☞ 交換部品／別売品は65ページ

1 ウォシュレット本体を取りはずす

● ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

2 ウォシュレット本体背面のルーバーをはずす

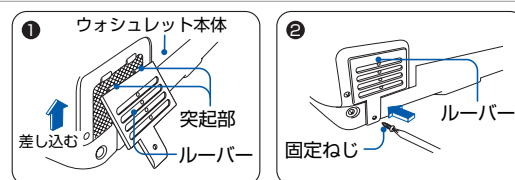
❶ルーバーの固定ねじを⊕ドライバーではずす
❷ルーバーの下面をもってルーバーをウォシュレット本体からはずす

3 脱臭カートリッジの突起部をつまんで引き出す

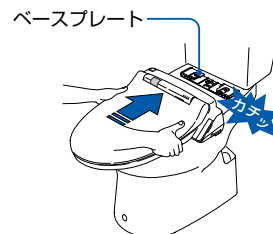
※脱臭カートリッジの黒粉が手についた場合は、すぐに手を洗ってください。（皮ふや目などに接触した場合、炎症を起こすおそれがあります。）

4 新しい脱臭カートリッジを取り付ける

※脱臭カートリッジは確実に奥まで押し込んでください。

5 ルーバーを取り付ける

❶ルーバーの突起部をウォシュレット本体に差し込む
❷ウォシュレット本体のルーバー取り付け穴に⊕ドライバーで固定ねじを締め付ける

6 ウォシュレット本体を取り付ける

❶ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
❷便器面にウォシュレット本体をすべらせて、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

アフターサービス

修理を依頼される前に、「故障かな?!と思ったら」の項をご確認ください。

●保証書

● 必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
● 保証期間は、お買い上げ日から1カ年です。

●補修用性能部品の最低保有期間

● ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●部品交換について

● 無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO(株)の所有となります。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

● もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターに修理を依頼してください。
保証書の記載内容により修理いたします。
● 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

■ご住所、ご氏名、電話番号
■製品名
品番（TCF・・・）・・※便ふたの裏をご覧ください。
お買い上げ日 ････････※保証書をご覧ください。
■訪問ご希望日

お客様の個人情報のお取扱い

お客様からお預かりした個人情報は関連法令および社内規定に基づき、慎重かつ適切にお取扱いします。
詳しくはTOTOホームページ
http://www.toto.co.jp/をご覧ください。

●保証期間経過後修理を依頼されるとき

● お求めの販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにまずご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

定期点検のおすすめ（有料）

● 逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。
（水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。）
● 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。
なお、点検はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼ください。

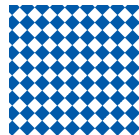
<お問い合わせ先>
TOTOメンテナンス(株)修理受付センター
TEL ☎ **0120-1010-05**
FAX ☎ **0120-1010-02**
受　　付：年中無休
受付時間：関東・甲信越地区　8：00～20：00
　　　　　上記以外の地区　　9：00～20：00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：　　　　　　　　　9：00～18：00

● 定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日 付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金のしくみ <TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼の場合>

修理料金は **技術料** ＋ **部品代** ＋ **出張料** で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品代です。
出張料 は、商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

仕様

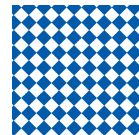
項目			TCF426	TCF466
定格電源			交流100V　50／60Hz	
定格消費電力			1277W	1373W
区分※1			瞬間式	
年間消費電力量※2			135kWh／年（175kWh／年）	
電源コード長さ			1.0m（漏電保護プラグ、アース線付）	
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄	約0.27～0.43L／min（水圧0.2MPaのとき）	
		やわらか洗浄	約0.27～0.43L／min（水圧0.2MPaのとき）	
		ビデ洗浄	約0.29～0.43L／min（水圧0.2MPaのとき）	
	吐水温度		温度調節範囲　約30～40℃	
	ヒーター容量		1200W	
	安全装置		温度ヒューズ、温度過昇防止器（自動復帰式バイメタル）、空焚き防止フロートスイッチ	
	逆流防止装置		バキュームブレーカー、逆止弁	
温風乾燥装置（TCF466のみ）	温風温度※3		–	温度調節範囲　約40～59℃
	風量		–	$0.30m^3$／min
	ヒーター容量		–	350W
	安全装置		–	温度ヒューズ
暖房便座	表面温度		温度調節範囲　約28～35℃（おまかせ節電時 約26℃）	
	ヒーター容量		51W	
	安全装置		温度ヒューズ	
脱臭装置	方式		O_2脱臭	
	風量		標準モード：$0.09m^3$／min、パワーモード：$0.16m^3$／min	
室内暖房装置（TCF466のみ）	風量		–	$0.35m^3$／min
	ヒーター容量		–	350W
	安全装置		–	温度ヒューズ、温度過昇防止器（自動復帰式バイメタル）
給水圧力			最低必要水圧：0.05MPa（流動圧） 最高水圧：0.75MPa（静水圧）	
給水温度			0～35℃	
周囲使用温度			0～40℃	
製品寸法	エロンゲート		幅400mm、奥行532mm、高さ131mm	幅440mm、奥行532mm、高さ131mm
製品質量			5.0kg	5.5kg

※1 省エネ法（2012年度基準）の区分
※2 省エネ法（2012年度基準）に基づいた測定値
（ ）内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量
※3 温風吹出口付近における当社測定点の温度

抗菌

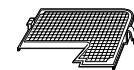
抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z 2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z 2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、リモコン（スイッチ）
抗菌剤の種類	無機系（銀）

抗菌性能持続性	（社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
安全性	（社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
禁止事項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

※ 抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。

交換部品／別売品

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

交換部品

脱臭フィルター（品番：D45214）

【希望小売価格 ￥30（税込￥32）】

給水フィルター付水抜栓（品番：D43207ZN）

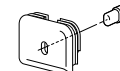
【希望小売価格 ￥460（税込￥483）】

室内暖房フィルター（品番：D45301）

【希望小売価格 ￥100（税込￥105）】

便座クッション（品番：D42014R）

【希望小売価格 ￥170（税込￥179）】

便ふたクッション（品番：D42080Z）

【希望小売価格 ￥280（税込￥294）】

脱臭カートリッジ（品番：TCA83）

【希望小売価格 ￥1,350（税込￥1,418）】

別売品

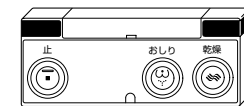
ウォシュレットクリーナーきらりあ（品番：ENL500）

希望小売価格：￥1,000（税込 ￥1,050）
容量： 185ml

便座・便ふたカバー（同梱の通信販売カタログをご覧ください。）

●便座・便ふたカバーをお取り付けになるときは、必ずTOTO専用カバーをお求めください。
※市販のカバーは取り付けができない場合や便座が立たなかったり、誤作動の原因になることがあります。

らくらくリモコン（品番：TCA55）

（寸法：幅220mm、奥行25mm、高さ84mm）
※標準リモコンとの併設が必要となります。

【希望小売価格 ￥8,000（税込￥8,400）】

■商品のお問い合わせはTOTO（株）お客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）
インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/

■部品のご購入はTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）